

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()	
	1 目	一般管理費		(1)	透明性の高い行政を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P14	中 事 業	広聴事業関係費				
事業コード		001-002-001-00005	事 業 名	広聴事業				
目的及び事業内容		より良いまちづくりをめざし、市民からの意見・提案を市政に反映するため、市政提案・苦情等意見の受け付け、陳情・要望の受け付け、パブリックコメント、市政教室、まちづくり懇談会等の広聴事業を実施する。						
取 組 実 績		1 市政提案・・・29件 2 苦情等・・・75件 3 陳情・要望・・・35件 復興政策部4件、総務部4件、財務部1件、復興事業部2件、健康部1件、福祉部2件、産業部10件、建設部4件、教育委員会4件、河北総合支所3件 4 パブリックコメント・・・2件の計画等に対する意見募集 (1) 第3期石巻市食育推進計画(案) (2) 石巻市自死対策推進計画(案) 5 市政教室・・・10回実施、募集人数187人、参加人数126人(参加割合67.3%) 見学先：石巻魚市場、津波避難タワー、半島部拠点エリア整備事業、齋藤氏庭園、雄勝ローズファクトリーガーデン、マルハニチロ新石巻工場、白謙蒲鉾門脇工場、サン・ファン館等 6 まちづくり懇談会・・・6回実施、135名出席 7 市民意識調査・・・調査期間 平成30年7月25日～8月15日 調査対象者数 2,700人 回収数 1,004件(回収率 37.2%) 調査項目(1) 東日本大震災に伴う復旧・復興事業について (2) 男女共同参画社会について (3) バス交通等の利用について (4) ご当地ナンバープレート導入について (5) 環境について (6) 地域福祉について (7) 人生の最終段階における医療や介護について (8) 広報事業について						
成 果		市民からの市政提案・苦情等については、市の考え方や今後の対応について直接市民へ回答し、理解を得るよう努めた。 陳情・要望等については、市長が直接考え方を伝えることにより、市民が市政をより身近なものに感じ、市政への関心を高めることができた。 パブリックコメントについては、市の計画等に対する意見を募集した結果、計23件の貴重な意見・提言をいただき、各計画策定の参考とした。 市政教室については、市民が復興状況や市の新たな施設、市内の文化財、民間企業等を見学することにより、市政への理解を深めることができた。 まちづくり懇談会については、各地区の住民が市長等と意見交換を行い、市政への理解を深めることができた。 隔年で実施している市民意識調査では、8項目の調査項目を設定し回答を分析したことで、今後の市政運営の基礎資料とすることができた。						
成果に係る評価		広く市民の意見を聴くための広聴事業は、市民ニーズを把握し、市民の声を市政に反映させるため、市と市民を繋ぎ、信頼関係に結ばれながら連携する上で重要なツールとなることから、必要な事業である。 特に、「まちづくり懇談会」の開催については、市長が各地区に出向き、市民から直接意見や要望を聴くことができるため、復興状況を勘案し、半島沿岸部や新市街地の住民自治組織との開催を視野に入れながら、継続して実施していく必要がある。 市民意識調査は、市民の関心・意向・要望等を知るために必要な調査であり、隔年実施では、一度調査機会を逸すると最大4年間のブランクが生じるため、毎年度調査を実施していく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	516,000		427,393					427,393

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																									
	1 項	総務管理費		第 節		()																									
	1 目	一般管理費		()		()																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	功労者表彰・礼遇者関係費																											
事業コード			事 業 名	市政功労者表彰事業																											
目的及び事業内容		市の行政、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与し、又は市民の模範と認められる善行があった個人・団体を表彰し、その功績を讃える。 ・市政功労表彰候補者の推薦依頼 ・推薦委員会及び審査委員会の開催 ・表彰式の開催																													
取組実績		<p>1 市政功労表彰候補者の推薦依頼 市報・ホームページによる市民への周知及び各課への通知により、市政の発展に功績のある方の推薦を依頼し、72名・11団体の推薦があった。</p> <p>2 推薦委員会及び審査委員会の開催 市政功労表彰候補者として推薦された方々を、市民の方々に構成する推薦委員会及び部長等の市職員で構成する審査委員会で審査し、63名・11団体の市政功労者が決定された。</p> <p>3 表彰式の開催 (1) 市政功労者として決定された方々に表彰状及び記念品を授与するため、表彰式を開催した。 日 時：平成30年11月10日(土) 午後2時から 場 所：遊楽館 かなんホール 出席者数：31名・8団体 (2) 表彰式及び受賞者を、市報・地元新聞で周知した。</p>																													
成 果		<p>市政のために尽力した方々を表彰し、その功績を讃え、広く市民に知らせることにより、受賞者のさらなる活躍が期待できるとともに、市民の市政への参加意識の高揚に寄与することができた。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>年度別取組実績</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>市政功労者推薦者数</td> <td>124名</td> <td>115名</td> <td>112名</td> <td>128名</td> <td>83名</td> </tr> <tr> <td>市政功労者決定者数</td> <td>88名(71.0%)</td> <td>93名(80.9%)</td> <td>90名(80.4%)</td> <td>102名(79.7%)</td> <td>74名(89.2%)</td> </tr> <tr> <td>表彰式出席者数</td> <td>55名(62.5%)</td> <td>53名(57.0%)</td> <td>52名(57.8%)</td> <td>60名(58.8%)</td> <td>39名(52.7%)</td> </tr> </table>						年度別取組実績	H26	H27	H28	H29	H30	市政功労者推薦者数	124名	115名	112名	128名	83名	市政功労者決定者数	88名(71.0%)	93名(80.9%)	90名(80.4%)	102名(79.7%)	74名(89.2%)	表彰式出席者数	55名(62.5%)	53名(57.0%)	52名(57.8%)	60名(58.8%)	39名(52.7%)
年度別取組実績	H26	H27	H28	H29	H30																										
市政功労者推薦者数	124名	115名	112名	128名	83名																										
市政功労者決定者数	88名(71.0%)	93名(80.9%)	90名(80.4%)	102名(79.7%)	74名(89.2%)																										
表彰式出席者数	55名(62.5%)	53名(57.0%)	52名(57.8%)	60名(58.8%)	39名(52.7%)																										
成果に係る評価		候補者を推薦するにあたっては、市報やホームページで市民へ広く周知するとともに庁内各課へ通知したことで、該当者の掘り起こし等を行うことができた。また、受賞者に対し、その功績を讃えることにより、市政の振興と市政への参加意識の高揚が期待できることから、今後も継続して実施する必要がある。																													
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	528,932	320,485				320,485																									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																																																																			
	1 項	総務管理費		第 節		()																																																																			
	1 目	一般管理費		()		()																																																																			
実施計画掲載ページ			中 事 業	情報公開推進費																																																																					
事業コード			事 業 名	情報公開・個人情報保護事業																																																																					
目的及び事業内容		<p>1 情報公開 市民の市政について知る権利を保障するとともに、情報の一層の公開を図る。</p> <p>2 個人情報保護 本市の保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める権利を明らかにするとともに、個人情報の適正な取扱いを確保する。</p>																																																																							
取組実績		<p>1 開示請求の決定状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">開示請求件数</td> <td colspan="7">請求に対する決定等</td> </tr> <tr> <td>開示</td> <td>一部開示</td> <td>不開示</td> <td>不存在</td> <td>その他</td> <td>取下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報公開</td> <td>96件</td> <td>38件</td> <td>49件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>1件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>個人情報</td> <td>34件</td> <td>23件</td> <td>6件</td> <td>0件</td> <td>5件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>2 審査請求の状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">審査請求件数</td> <td rowspan="2">取下</td> <td rowspan="2">諮問</td> <td rowspan="2">答申</td> <td colspan="4">審査請求に対する決定</td> <td rowspan="2">次年度繰越し</td> </tr> <tr> <td>認容</td> <td>一部認容</td> <td>棄却</td> <td>却下</td> </tr> <tr> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>3 情報公開・個人情報保護審査会の開催状況 平成30年度においては、審査請求に係る諮問のため、審査会を2回開催した。その内容は、特定の個人が所有する家屋に係る家屋評価調書について、当該家屋の具体的な評価額等も限定した上での公文書開示請求があり、実施機関が存否応答拒否の決定を行ったところ、当該開示請求者から、その決定の取消しを求められたもので、審査会において慎重に審議し、その請求を棄却したものである。</p> <p>4 情報公開コーナーの利用状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">利用件数</td> <td colspan="3">利用件数の内訳</td> </tr> <tr> <td>行政資料等の閲覧</td> <td colspan="2">(うち行政資料等の複写)</td> <td>その他相談等</td> </tr> <tr> <td>558件</td> <td>535件</td> <td colspan="2">(242件)</td> <td>23件</td> </tr> </table>						開示請求件数	請求に対する決定等							開示	一部開示	不開示	不存在	その他	取下		情報公開	96件	38件	49件	0件	4件	1件	4件	個人情報	34件	23件	6件	0件	5件	0件	0件	審査請求件数	取下	諮問	答申	審査請求に対する決定				次年度繰越し	認容	一部認容	棄却	却下	1件	0件	1件	1件	0件	0件	1件	0件	0件	利用件数	利用件数の内訳			行政資料等の閲覧	(うち行政資料等の複写)		その他相談等	558件	535件	(242件)		23件
開示請求件数	請求に対する決定等																																																																								
	開示	一部開示	不開示	不存在	その他	取下																																																																			
情報公開	96件	38件	49件	0件	4件	1件	4件																																																																		
個人情報	34件	23件	6件	0件	5件	0件	0件																																																																		
審査請求件数	取下	諮問	答申	審査請求に対する決定				次年度繰越し																																																																	
				認容	一部認容	棄却	却下																																																																		
1件	0件	1件	1件	0件	0件	1件	0件	0件																																																																	
利用件数	利用件数の内訳																																																																								
	行政資料等の閲覧	(うち行政資料等の複写)		その他相談等																																																																					
558件	535件	(242件)		23件																																																																					
成 果		<p>1 情報公開 公文書の開示については、迅速かつ適切に行うとともに、情報公開制度の適正な運営に努め、情報公開の推進に取り組むことができた。請求件数は、前年度と同件数の96件となっている。また、情報公開コーナーの利用件数は、前年度(536件)と比較すると22件増の558件となっており、行政資料等の複写や閲覧など、市民に対する情報提供を円滑に行うことができた。</p> <p>2 個人情報保護 個人の権利利益の侵害の防止を図り、個人の人格と尊厳の尊重に寄与した。また、本人に対し個人情報の開示を行ったことで、自己情報を求める権利を保障するとともに、個人の権利利益を保護することができたほか、個人情報保護条例の一部改正の施行により、より適切な個人情報保護制度の運用を図ることができた。</p>																																																																							
成果に係る評価		公文書の開示については、請求内容に応じ、保護される利益と公益上の必要性とを個別具体的に比較し、判例等を踏まえながら、今後も適正かつ迅速な情報公開事務に継続して努めることが重要である。また、情報公開をより一層推進するため、市民に必要な情報を積極的に提供するとともに、手続きの簡便化についても検討し、情報提供施策の充実、改善を図っていく必要がある。 個人情報の保護については、個人情報の定義の明確化及び要配慮個人情報の取扱いの規定により、実施機関において、より適切な個人情報の保護が図られたことから、今後も、個人の権利利益が侵害されることのないよう、個人情報保護条例を遵守し、情報公開・個人情報保護審査会の意見を踏まえながら、個人情報の適正な管理に努めることが重要である。																																																																							
(単位：円)																																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																			
	2,609,000	2,136,631			555,470	1,581,161																																																																			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第2節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()	
	2 目	文書広報費		(1)	透明性の高い行政を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P13	中 事 業		広報活動費			
事業コード		001-002-001-00004	事 業 名		「市報いしのまき」発行事業			
目的及び事業内容		行政情報を広く市民に周知する手段として市報を作成し、市民の市政への関心を高め、市政に対する理解と協力を得るため毎月発行する。						
取組実績		<p>毎月1日号を発行し、市の施策や行政情報、各種お知らせ、催事、文化スポーツ行事、募集、子育て支援情報、健診のお知らせなど多くの情報を掲載し、市民へ情報提供を行った。 また、写真やイラストの使用を増やし、見て楽しめる話題を取り入れるなど、紙面づくりの工夫に努めた。</p> <p>平成30年5月1日号から、カテゴリー別に紙面構成を見直し、読みやすさの改善を図った。子育てコーナーでは、子育て支援センターの利用者等を紹介する特集記事を掲載し、利用者の声が表現できるよう工夫した。</p> <p>〔市報発行〕 毎月1日発行、発行部数月65,000部</p> <p>主な掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興に関するお知らせ ・市の財政状況 ・市職員の人事行政運営のあらまし ・各種行政情報 ・平成31年度施政方針 ・まちの話題 ・休日等救急当番医 ・子育て支援情報 ・各種健診 ・文化スポーツ行事 ・各種事業の募集 						
成 果		各種行政情報や市の主要な施策・取り組みなどについて、分かりやすく読みやすい紙面づくりに努め、市民へ情報提供が図られた。 カテゴリー別に紙面構成を見直したことにより、読みやすさが改善された。 また、子育てコーナーでは利用者等を紹介する特集記事を掲載し、子育て世代の不安が少しでも解消されるような情報提供が図られた。						
成果に係る評価		市報の発行にあたっては、市民にとって興味を持ってもらえるような魅力ある内容の掲載と記事自体が読みやすく簡潔なものになるよう、原稿のさらなる精査に努めるとともに、掲載項目の把握や紙面の割り付けを検討するなど、随時見直しを図りながら、より良い広報紙となるよう改善を続ける必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	14,626,251	14,515,200			14,515,200			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																										
	1 項	総務管理費		第 節			()																										
	6 目	企画費		()			()																										
実施計画掲載ページ			中 事 業		がんばる石巻応援寄附関係費																												
事業コード			事 業 名		がんばる石巻応援寄附関係事業																												
目的及び事業内容		石巻市を応援してくださる個人の方からの寄附金を、本市の目指す将来像「笑顔と自然があふれる元気なまち」をつくるために、主要な事業に充当している。 また、寄附者に対して石巻市の特産品を送付することで、地域経済の活性化を図る。																															
取組実績		<p>1 申込方法の割合 (1) インターネットからの申請：約96%、申込書による申請：約4%</p> <p>2 納付方法の割合 (1) クレジット92.2%、郵便局振込6.7%、銀行振込1.0%、現金書留0.1%</p> <p>3 PR方法について (1) 首都圏で開催された各種イベントにてチラシ配布、試食会、特産品紹介 (2) 東京都に所在する企業を訪問し、チラシ配布等のPR活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>イベント名・訪問先</th> <th>会場場所</th> <th>来場者数</th> <th>チラシ配布数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月28日</td> <td>「いのちの絵本」朗読会</td> <td>千葉県浦安市</td> <td>約500人</td> <td>約500部</td> </tr> <tr> <td>11月9日</td> <td>NTTデータ(株)にてふるさと納税PR</td> <td>東京都江東区</td> <td>約1,500人</td> <td>約200部</td> </tr> <tr> <td>11月10日、11日</td> <td>ふるさと納税大感謝祭</td> <td>神奈川県横浜</td> <td>約18,000人</td> <td>約1,000部</td> </tr> <tr> <td>11月17日、18日</td> <td>アイランダー</td> <td>東京都豊島区</td> <td>約10,000人</td> <td>約500部</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 特産品選定評価委員会開催による特産品選定 (1) 開催回数は3回(6月、10月、2月) (2) 石巻市外の出身者の意見を参考にするため、評価委員会に派遣職員4名が参加 (千葉県千葉市、静岡県掛川市、兵庫県姫路市、広島県広島市)</p>								イベント名・訪問先	会場場所	来場者数	チラシ配布数	4月28日	「いのちの絵本」朗読会	千葉県浦安市	約500人	約500部	11月9日	NTTデータ(株)にてふるさと納税PR	東京都江東区	約1,500人	約200部	11月10日、11日	ふるさと納税大感謝祭	神奈川県横浜	約18,000人	約1,000部	11月17日、18日	アイランダー	東京都豊島区	約10,000人	約500部
	イベント名・訪問先	会場場所	来場者数	チラシ配布数																													
4月28日	「いのちの絵本」朗読会	千葉県浦安市	約500人	約500部																													
11月9日	NTTデータ(株)にてふるさと納税PR	東京都江東区	約1,500人	約200部																													
11月10日、11日	ふるさと納税大感謝祭	神奈川県横浜	約18,000人	約1,000部																													
11月17日、18日	アイランダー	東京都豊島区	約10,000人	約500部																													
成 果		<p>寄附が集中している首都圏で開催される各種イベントに参加し、チラシ配布等のPRを行ったほか、前年度より5万円以上の高額寄附申込者が増加したことにより、寄附金額が1,244万8,020円増加した。</p> <p>寄附金実績一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附件数</td> <td>17,642件</td> <td>25,078件</td> <td>11,830件</td> <td>17,731件</td> <td>15,589件</td> </tr> <tr> <td>寄附金額</td> <td>316,818,248円</td> <td>355,750,382円</td> <td>186,352,202円</td> <td>241,483,225円</td> <td>253,931,245円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	H26	H27	H28	H29	H30	寄附件数	17,642件	25,078件	11,830件	17,731件	15,589件	寄附金額	316,818,248円	355,750,382円	186,352,202円	241,483,225円	253,931,245円							
区分	H26	H27	H28	H29	H30																												
寄附件数	17,642件	25,078件	11,830件	17,731件	15,589件																												
寄附金額	316,818,248円	355,750,382円	186,352,202円	241,483,225円	253,931,245円																												
成果に係る評価		平成30年度は、前年度に引き続き人気ポータルサイトへの掲載のほか、首都圏で行われるPRイベントへの積極的な参加、ふるさと納税ホームページの特産品掲載写真の入れ替え等に取り組み、それにより寄附金額は前年度に比べ約1,200万円増額した。																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	143,681,000	135,225,902				135,225,902																											

予算科目	2 款	総務費	総合計画			復興計画	()	
	1 項	総務管理費					()	
	6 目	企画費					()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	総合戦略推進関係費				
事業コード			事 業 名	いしのまき政策コンテスト開催事業				
目的及び事業内容		若者の郷土愛を育み、地域に対する誇りを持ってもらうこと、また、若者にまちづくりに対する当事者意識を持ってもらうことを目的とし、「20年後に私達が住みたい石巻はこれだ！～いま、どんな政策が必要か考えよう～」をテーマに政策を考え、コンテスト形式で若者らしい斬新かつ、現実性を備えた政策提案を競い合い、優秀な提案については、今後の市の政策に反映させることを検討するもの。						
取組実績		<p>昨年まで業務委託により開催していたものを、今年度から民間の視点からの助言等を考慮し、石巻市と一般社団法人石巻青年会議所で実行委員会を組織し、いしのまき政策コンテストを運営、実施した。</p> <p>7月29日から10月21日までの約3か月にわたり、いしのまき政策コンテストを実施し、期間中に、全体催事（5回）及び毎週の進捗確認を行った。</p> <p>7月29日 キックオフ 市の概要説明及び市内施設等の見学を実施 8月20日 初期チェック 進捗確認、政策提案への助言及び相談を実施 9月 9日 中間チェック 進捗確認、政策提案への助言及び相談を実施 10月 7日 直前チェック 進捗確認、政策提案への助言及び相談を実施 10月21日 決勝大会 各チームの政策提案をコンテスト形式で発表し、審査員の審査により最優秀賞及び優秀賞、一般観覧者の投票により市民賞を決定</p>						
成 果		<p>1 参加者数 7チーム、24名（平成29年度 12チーム、63名）</p> <p>2 一般観覧者数 250名（平成29年度 100名）</p> <p>3 参加者へのアンケート結果 (1) まちづくりに対する意識 「積極的に関わりたくなった、どちらかといえば関わりたくなった」割合 78.5% (2) 意見・感想 ・参加する前より石巻のことを考えるようになった。 ・市のことを知れる良い機会となった。 ・市政の様子や政策を考えることの難しさを知り、将来まちづくりに携わりたいという気持ちが強くなった。</p> <p>4 入賞した政策の施策への反映 最優秀賞、優秀賞及び市民賞の提案は、関係各課へ照会を行い、施策への反映を検討している。</p>						
成果に係る評価		参加者である若者の郷土愛を育み、地域に対する誇りを持つということ、まちづくりに対する当事者意識を持ってもらうきっかけの醸成が図られた。 郷土愛や地元への誇りを持ち、産業を担う人材を育成して、若者の定着を目指すため、石巻青年会議所、石巻専修大学や地元高等学校と連携し、地域に根ざした政策コンテストとして定着させていきたい。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,900,000	830,000				830,000		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																							
	1 項	総務管理費					第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める	()																					
	6 目	企画費					(1)	透明性の高い行政を推進する	()																					
実施計画掲載ページ		P13	中 事 業	ICT関連事業推進費																										
事業コード		001-002-001-00947	事 業 名	オープンデータ活用推進事業																										
目的及び事業内容		地域課題の解消と市民サービスの向上並びにICTの活用による震災伝承を推進するため、本市が保有する震災関連情報を含む行政情報の整備・整理を行いオープンデータとして活用するための環境整備を実施する。また、地元大学との連携事業等を実施し、潜在化する地域課題を掘り起こし課題解消につながる行政情報のニーズを把握しデータ活用の推進を図る。																												
取組実績		<p>1 震災関連情報オープンデータ化事業（平成28年度からの継続事業：秘書広報課連携） (1) デジタル化された震災関連情報の整理・分類の実施 (2) デジタル化された震災関連情報の利活用促進のためのデータ整備 2 震災ナレッジ利活用検証業務 (1) これまでにデータ整備を行った一部の震災関連データを活用し、被災当時の避難状況や被災者ニーズの変化及びニーズに対する支援物資の状況等の可視化を行い、整備したデータの利活用手法並びに可能性を検証 (2) データ利活用に必要な情報の整理と将来、大規模災害が発生した際に整理すべき情報の種類並びに標準的なフォーマット案の作成</p>																												
成 果		<p>1 これまでに確立させたデータ整理・分類手法を実施し、将来のICTを活用した震災伝承や防災教育で活用できる震災関連情報をオープンデータ化するための環境整備が図られた。また、地元大学との連携した取り組みから地域課題の解消が期待できる有益な行政情報のニーズを把握し、大学の研究活動やデータ利用者の自発的な取り組みによるデータの二次利用が促進された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> <th rowspan="2">利用されたデータと解消された課題の例</th> </tr> <tr> <th>※解消された課題等 目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>100%</td> <td>【利用されたデータ】：ごみ出しカレンダー 地域のごみ出しルールの浸透（転入者や学生等）</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>100%</td> <td>【利用されたデータ】：津波浸水区域情報 インターネットで可視化され防災意識の醸成が図られる。</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>100%</td> <td>【利用されたデータ】：公共施設バリアフリー情報 障害者の外出時における不安への解消が図られる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 市民ニーズに基づき公共施設のバリアフリー対応状況のオープンデータ化に取組み、地元大学とも連携を図り地域課題の解消が図られた。（バリアフリーマップアプリへの活用）</p>							区分	成果指標		達成率等	利用されたデータと解消された課題の例	※解消された課題等 目標値	実績等	H28	2件	2件	100%	【利用されたデータ】：ごみ出しカレンダー 地域のごみ出しルールの浸透（転入者や学生等）	H29	3件	3件	100%	【利用されたデータ】：津波浸水区域情報 インターネットで可視化され防災意識の醸成が図られる。	H30	2件	2件	100%	【利用されたデータ】：公共施設バリアフリー情報 障害者の外出時における不安への解消が図られる。
区分	成果指標		達成率等	利用されたデータと解消された課題の例																										
	※解消された課題等 目標値	実績等																												
H28	2件	2件	100%	【利用されたデータ】：ごみ出しカレンダー 地域のごみ出しルールの浸透（転入者や学生等）																										
H29	3件	3件	100%	【利用されたデータ】：津波浸水区域情報 インターネットで可視化され防災意識の醸成が図られる。																										
H30	2件	2件	100%	【利用されたデータ】：公共施設バリアフリー情報 障害者の外出時における不安への解消が図られる。																										
成果に係る評価		オープンデータの浸透により、徐々にではあるが行政情報のオープンデータ化へのニーズが高まってきており、地域課題の解消や市民サービスの向上に繋がる市民活動へと確実に広がりを見せている。ニーズに基づいた行政情報のオープンデータ化は、個人のITスキルの向上はもとより市政参加への醸成や地域活性化にも繋がっており、取組みの成果が徐々に表れてきている。また、震災関連情報のオープンデータ化については、データ整備を中心としたこれまでの取組みから、データ利活用にも徐々に取組める環境になり、蓄積された貴重なデータをICTを活用し可視化することで震災伝承の有用性への理解が深まってきている。今後、各地で起こり得る大規模災害への備えとして震災ナレッジデータをより一層利活用できる環境整備が必要となる。「データは利活用するために存在する」という意味においても、高まるニーズを把握することによりさまざまな分野で利活用が見込めるため、今後も事業を継続する必要がある。																												
（単位：円）																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																								
	4,644,000	4,644,000				4,644,000																								

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																									
	1 項	総務管理費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する		()																									
	6 目	企画費		(1)	魅力ある観光地づくりと効率的なPRの推進を図る		()																									
実施計画掲載ページ		P53		中 事 業	ICT関連事業推進費																											
事業コード		003-007-001-01245		事 業 名	インバウンド向け無料無線通信環境整備事業																											
目的及び事業内容		本市を訪れる訪日外国人観光客を対象に、良好なインターネット接続環境を提供するSIMカードを無料で配布し、滞在期間中観光に役立つ様々な情報を発信することによる満足度の高揚と観光者自身が開設するSNSからの投稿を促進し、本市の魅力発信と交流人口の増加を図り地域の活性化へと繋げる。																														
取組実績		<p>1 無料SIMカードの配布を実施</p> <p>(1) 訪日外国人への利用促進を図るための取り組みを実施</p> <p>ア 配布場所 ⇒ 石巻観光協会物産販売所、復興まちづくり情報交流館中央館、石ノ森萬画館、カフェ「IRORI（イロリ）」、HOTEL KIKO（ゲストハウス）、ホテルルートイン（石巻河南IC店・大街道店）、石巻港埠頭</p> <p>イ 配布時期 ⇒ 石巻港埠頭での配布は外国客船入港時、その他は常時</p> <p>(2) 外国客船の出発地である横浜港において、出港前日に事前PR活動を実施</p> <p>(3) 観光関係者らで立ち上げた「街なかインバウンド推進ネットワーク運営会議」への参加</p>																														
成 果		<p>今後、本市を訪れる外国人が増えると予想され、市域において通常利用可能なWi-Fi環境の整備は十分とはいえない状況にある中、良好なインターネット接続環境の提供及びSIM利用者に対し本市の魅力を発信することができた。</p> <p>平成30年度配布状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配布期日</th> <th>配布枚数</th> <th>配布場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30. 5</td> <td>12枚</td> <td>カフェ「IRORI（イロリ）」ほか</td> </tr> <tr> <td>H30. 7</td> <td>5枚</td> <td>復興まちづくり情報交流館中央館</td> </tr> <tr> <td>H30. 8</td> <td>1枚</td> <td>石巻観光協会物産販売所</td> </tr> <tr> <td>H30. 9</td> <td>49枚</td> <td>石巻港埠頭ほか</td> </tr> <tr> <td>H30.10</td> <td>2枚</td> <td>石巻観光協会物産販売所ほか</td> </tr> <tr> <td>H31. 1</td> <td>31枚</td> <td>石巻観光協会物産販売所ほか</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>100枚</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							配布期日	配布枚数	配布場所	H30. 5	12枚	カフェ「IRORI（イロリ）」ほか	H30. 7	5枚	復興まちづくり情報交流館中央館	H30. 8	1枚	石巻観光協会物産販売所	H30. 9	49枚	石巻港埠頭ほか	H30.10	2枚	石巻観光協会物産販売所ほか	H31. 1	31枚	石巻観光協会物産販売所ほか	合 計	100枚	
配布期日	配布枚数	配布場所																														
H30. 5	12枚	カフェ「IRORI（イロリ）」ほか																														
H30. 7	5枚	復興まちづくり情報交流館中央館																														
H30. 8	1枚	石巻観光協会物産販売所																														
H30. 9	49枚	石巻港埠頭ほか																														
H30.10	2枚	石巻観光協会物産販売所ほか																														
H31. 1	31枚	石巻観光協会物産販売所ほか																														
合 計	100枚																															
成果に係る評価		<p>訪日外国人にとって、滞在期間中無料で利用できるインターネット接続環境は魅力的であり、他にも珍しい「おもてなしの取組み」として、Wi-Fi環境整備に変わる新たなサービスの転換が図られた。</p> <p>また、配布実績に関しては4回の寄港が予定されていた客船の入港は台風の影響により1度となったものの、ニーズ調査の結果や利用者の声からも有益なサービスであることが分かり、今後、配布手法等を探求することや、街なかインバウンド推進ネットワーク運営会議での観光関係者との情報共有・情報発信により利用者の拡大も期待されサービスの向上につながることから、今後も事業を継続する必要がある。</p>																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	8,502,126	7,400,074			4,000,000	3,400,074																										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																				
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()																																																				
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()																																																				
実施計画掲載ページ		P119		中 事 業	市民協働推進費																																																						
事業コード		006-001-001-00023		事 業 名	地域づくり基金助成事業																																																						
目的及び事業内容		市民の連携の強化及び均衡ある地域振興に資するため、行政との協働のまちづくりにより実施する事業や市全域のまちづくりのために地域コミュニティ活性化を図る事業に対し、助成限度額30万円を支援するもの。																																																									
取組実績		<p>19団体より申請があり、一次審査及び公開プレゼンテーションによる審査の結果、16団体の事業に交付決定を行い、助成金を交付した。</p> <p>1 新規助成団体数 6団体 (本庁6件)</p> <p>2 継続助成団体数 10団体 (本庁6件、河北1件、河南1件、桃生2件)</p> <p>計 助成団体数 16団体 (本庁12件、河北1件、河南1件、桃生2件)</p>																																																									
成 果		<p>事業の実施により、住民同士が交流することによって市民の一体感が醸成された。また、伝統文化の継承により均衡ある地域振興が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体の名称</th> <th>事業の名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>一般社団法人りぶらす</td> <td>地域健康サポーター事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>水と緑の環境フォーラム・ものう</td> <td>北上川親子自然交流事業並びに北上川に係る講演会</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ</td> <td>うめばたけ こども図書室</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>がんばろう！石巻の会</td> <td>月命日の光の柱/東日本大震災3.11のつどい</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>河南桃生商工会青年部</td> <td>郷土体験「はねこ塾」</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>いしのみまき演劇祭実行委員会</td> <td>第3回いしのみまき演劇祭</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク</td> <td>ノーパディズ・パーフェクトプログラム講座</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>石巻商工会議所青年部</td> <td>ココロの灯り・石巻にふれる学びのツアー</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>特定非営利活動法人石巻アーカイブ</td> <td>「MIYAGI1951」～米軍医が撮影した1951年の石巻～</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>石巻圏棋食嚙下研究会</td> <td>石巻圏棋食嚙下研究会 食べる輪</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>すばらしい北上運河沿線の自然環境を守る協議会</td> <td>すばらしい北上運河沿線の環境美化活動</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>河南鹿嶋ばやし保存会</td> <td>河南鹿嶋ばやし伝承事業</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>特定非営利活動法人 ばんぶきんふれあい会</td> <td>地域健康づくりふまねっとサポーター養成事業</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会</td> <td>子どもの遊び場づくり「OGASU村」開催</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>マンマの会 パセリ</td> <td>茶話会（乳がん情報交換の場）</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>エイサー石巻</td> <td>異文化伝統芸能（沖縄エイサー）による地域活性化事業</td> </tr> </tbody> </table>								団体の名称	事業の名称	1	一般社団法人りぶらす	地域健康サポーター事業	2	水と緑の環境フォーラム・ものう	北上川親子自然交流事業並びに北上川に係る講演会	3	特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ	うめばたけ こども図書室	4	がんばろう！石巻の会	月命日の光の柱/東日本大震災3.11のつどい	5	河南桃生商工会青年部	郷土体験「はねこ塾」	6	いしのみまき演劇祭実行委員会	第3回いしのみまき演劇祭	7	特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク	ノーパディズ・パーフェクトプログラム講座	8	石巻商工会議所青年部	ココロの灯り・石巻にふれる学びのツアー	9	特定非営利活動法人石巻アーカイブ	「MIYAGI1951」～米軍医が撮影した1951年の石巻～	10	石巻圏棋食嚙下研究会	石巻圏棋食嚙下研究会 食べる輪	11	すばらしい北上運河沿線の自然環境を守る協議会	すばらしい北上運河沿線の環境美化活動	12	河南鹿嶋ばやし保存会	河南鹿嶋ばやし伝承事業	13	特定非営利活動法人 ばんぶきんふれあい会	地域健康づくりふまねっとサポーター養成事業	14	石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会	子どもの遊び場づくり「OGASU村」開催	15	マンマの会 パセリ	茶話会（乳がん情報交換の場）	16	エイサー石巻	異文化伝統芸能（沖縄エイサー）による地域活性化事業
	団体の名称	事業の名称																																																									
1	一般社団法人りぶらす	地域健康サポーター事業																																																									
2	水と緑の環境フォーラム・ものう	北上川親子自然交流事業並びに北上川に係る講演会																																																									
3	特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ	うめばたけ こども図書室																																																									
4	がんばろう！石巻の会	月命日の光の柱/東日本大震災3.11のつどい																																																									
5	河南桃生商工会青年部	郷土体験「はねこ塾」																																																									
6	いしのみまき演劇祭実行委員会	第3回いしのみまき演劇祭																																																									
7	特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク	ノーパディズ・パーフェクトプログラム講座																																																									
8	石巻商工会議所青年部	ココロの灯り・石巻にふれる学びのツアー																																																									
9	特定非営利活動法人石巻アーカイブ	「MIYAGI1951」～米軍医が撮影した1951年の石巻～																																																									
10	石巻圏棋食嚙下研究会	石巻圏棋食嚙下研究会 食べる輪																																																									
11	すばらしい北上運河沿線の自然環境を守る協議会	すばらしい北上運河沿線の環境美化活動																																																									
12	河南鹿嶋ばやし保存会	河南鹿嶋ばやし伝承事業																																																									
13	特定非営利活動法人 ばんぶきんふれあい会	地域健康づくりふまねっとサポーター養成事業																																																									
14	石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会	子どもの遊び場づくり「OGASU村」開催																																																									
15	マンマの会 パセリ	茶話会（乳がん情報交換の場）																																																									
16	エイサー石巻	異文化伝統芸能（沖縄エイサー）による地域活性化事業																																																									
成果に係る評価		<p>石巻市NPO支援オフィスを通じて、登録団体に対し周知するなどの広報活動を実施した結果、6つの市民公益活動団体等から新たに申請があった。</p> <p>それにより、目標申請団体数18団体を上回る19団体から申請があり、その中でも、公開プレゼンテーションの審査を通して事業評価の高い団体が採択され、多様な分野からより効果的に地域コミュニティの活性化・地域振興が図られていることは評価できる。</p> <p>一方、地域自治組織からの申請が少ないため、町内会等に対しても積極的な広報活動を行う必要がある。</p>																																																									
(単位：円)																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																					
	4,000,000	3,744,000			3,744,000																																																						

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																																																					
	1 項	総務管理費		第 1 節	住民の自治力を強化する		()																																																					
	7 目	地域振興費		(2)	公益的な市民活動を支援する		()																																																					
実施計画掲載ページ		P 13	中 事 業	市民協働推進費																																																								
事業コード		001-001-002-00675	事 業 名	集会所建設費補助事業																																																								
目的及び事業内容		【目的】住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図り、もって地域社会の健全な発展に資する。 【内容】集会所の新築事業、集会所の改築、増築及び改修事業、既存建物を集会所として利用するための取得事業、集会所建設用地の取得事業、集会所の排水設備の公共下水道等への接続事業などに対する補助																																																										
取組実績		○集会所の新築及び改修事業（石巻市集会所建設費等補助金） 【新築3件】・駅前北通り親和会集会所 ・長渡地区振興会集会所（H29から繰越） ・網地自治会集会所（H29から繰越） 【改修8件】・大瓜入生活センター（トイレ改修） ・中埠一会館（外部塗装等修繕、トイレ改修） ・中埠二集会所（床等修繕） ・門脇明星会館（床、壁、天井等修繕） ・真野小島生活センター（壁、扉等修繕） ・泉町町内会会館（建物傾き、外壁修繕） ・原生活センター（壁、床等修繕） ・中島生活センター（浄化槽設置、トイレ改修）																																																										
成果		地域の交流拠点となる地区集会所の新築及び改修に対して補助金を交付し支援することにより、地域コミュニティ活動の促進と地域の連帯感の高揚、市民と行政の協働のまちづくりの推進が図られた。 ○石巻市集会所建設費等補助金																																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駅前北通り親和会集会所（石巻）</td> <td>新築</td> <td>3,672,000円</td> <td>1,787,000円</td> </tr> <tr> <td>長渡地区振興会集会所（牡鹿）</td> <td>新築</td> <td>69,982,920円</td> <td>41,990,000円</td> </tr> <tr> <td>網地自治会集会所（牡鹿）</td> <td>新築</td> <td>38,611,080円</td> <td>23,167,000円</td> </tr> <tr> <td>大瓜入生活センター（石巻）</td> <td>改修</td> <td>1,606,543円</td> <td>1,071,000円</td> </tr> <tr> <td>中埠一会館（石巻）</td> <td>改修</td> <td>2,804,295円</td> <td>1,869,000円</td> </tr> <tr> <td>中埠二集会所（石巻）</td> <td>改修</td> <td>1,442,132円</td> <td>961,000円</td> </tr> <tr> <td>門脇明星会館（石巻）</td> <td>改修</td> <td>2,817,990円</td> <td>1,500,000円</td> </tr> <tr> <td>真野小島生活センター（石巻）</td> <td>改修</td> <td>2,700,000円</td> <td>1,500,000円</td> </tr> <tr> <td>泉町町内会会館（石巻）</td> <td>改修</td> <td>2,360,000円</td> <td>1,500,000円</td> </tr> <tr> <td>原生活センター（河北）</td> <td>改修</td> <td>1,269,010円</td> <td>846,000円</td> </tr> <tr> <td>中島生活センター（河北）</td> <td>改修</td> <td>3,959,000円</td> <td>2,595,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>131,224,970円</td> <td>78,786,000円</td> </tr> </tbody> </table>							集会所名	事業区分	事業費	補助金額	駅前北通り親和会集会所（石巻）	新築	3,672,000円	1,787,000円	長渡地区振興会集会所（牡鹿）	新築	69,982,920円	41,990,000円	網地自治会集会所（牡鹿）	新築	38,611,080円	23,167,000円	大瓜入生活センター（石巻）	改修	1,606,543円	1,071,000円	中埠一会館（石巻）	改修	2,804,295円	1,869,000円	中埠二集会所（石巻）	改修	1,442,132円	961,000円	門脇明星会館（石巻）	改修	2,817,990円	1,500,000円	真野小島生活センター（石巻）	改修	2,700,000円	1,500,000円	泉町町内会会館（石巻）	改修	2,360,000円	1,500,000円	原生活センター（河北）	改修	1,269,010円	846,000円	中島生活センター（河北）	改修	3,959,000円	2,595,000円	計		131,224,970円	78,786,000円
集会所名	事業区分	事業費	補助金額																																																									
駅前北通り親和会集会所（石巻）	新築	3,672,000円	1,787,000円																																																									
長渡地区振興会集会所（牡鹿）	新築	69,982,920円	41,990,000円																																																									
網地自治会集会所（牡鹿）	新築	38,611,080円	23,167,000円																																																									
大瓜入生活センター（石巻）	改修	1,606,543円	1,071,000円																																																									
中埠一会館（石巻）	改修	2,804,295円	1,869,000円																																																									
中埠二集会所（石巻）	改修	1,442,132円	961,000円																																																									
門脇明星会館（石巻）	改修	2,817,990円	1,500,000円																																																									
真野小島生活センター（石巻）	改修	2,700,000円	1,500,000円																																																									
泉町町内会会館（石巻）	改修	2,360,000円	1,500,000円																																																									
原生活センター（河北）	改修	1,269,010円	846,000円																																																									
中島生活センター（河北）	改修	3,959,000円	2,595,000円																																																									
計		131,224,970円	78,786,000円																																																									
成果に係る評価		地区集会所は、地域コミュニティ活動の拠点となる重要な施設である。特に、改修や修繕を行う集会所が前年度と比較し3件増加（H29年度5件）しており、事業の目的である市民と協働のまちづくりの推進に寄与していることから、今後も継続が必要とされる事業である。																																																										
（単位：円）																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
	79,202,000	78,786,000	62,116,000				16,670,000																																																					

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章		復興計画	()																									
	1 項	総務管理費		第 1 節			()																									
	7 目	地域振興費		()			()																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	コミュニティ施設関係費																												
事業コード			事 業 名	コミュニティ施設管理運営事業																												
目的及び事業内容		地域のコミュニティづくりの推進を図るために設置したコミュニティ施設を、適切に管理運営することで、地域住民の連帯意識を高め、住民の福祉と健康の増進に寄与することを目的とする。																														
取組実績		1 向陽地区コミュニティセンター <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用実績</td> <td>30,699人</td> </tr> </tbody> </table> 2 鹿妻南コミュニティハウス <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用実績</td> <td>5,691人</td> </tr> </tbody> </table> 【主な利用内容】 サークル活動、町内会打ち合わせ、スポーツ少年団活動、ボランティア活動、健康教室、検診会場、企業研修等							区 分	利用者数	年間利用実績	30,699人	区 分	利用者数	年間利用実績	5,691人																
区 分	利用者数																															
年間利用実績	30,699人																															
区 分	利用者数																															
年間利用実績	5,691人																															
成果		施設管理人を配置し、適正管理に努めた。 利用状況としては、継続的に使用している団体もあり、地域のコミュニティづくりの推進が図られた。 【使用実績】 向陽地区コミュニティセンター																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>使用料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1,241件</td> <td>2,915,160円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,214件</td> <td>3,004,100円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,355件</td> <td>3,692,600円</td> </tr> </tbody> </table> 鹿妻南コミュニティハウス <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>使用料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>402件</td> <td>479,400円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>391件</td> <td>503,100円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>400件</td> <td>482,200円</td> </tr> </tbody> </table> ※ 鹿妻南コミュニティハウスは平成31年3月31日を以て地元住民への無償譲渡に伴い施設を廃止した。							区分	件数	使用料	H28	1,241件	2,915,160円	H29	1,214件	3,004,100円	H30	1,355件	3,692,600円	区分	件数	使用料	H28	402件	479,400円	H29	391件	503,100円	H30	400件	482,200円
区分	件数	使用料																														
H28	1,241件	2,915,160円																														
H29	1,214件	3,004,100円																														
H30	1,355件	3,692,600円																														
区分	件数	使用料																														
H28	402件	479,400円																														
H29	391件	503,100円																														
H30	400件	482,200円																														
成果に係る評価		サークル活動や町内会活動の場として施設が活用されることにより、地域コミュニティの醸成が図られ、特に鹿妻地区においては震災により失われたコミュニティ形成の一助となった。 向陽地区コミュニティセンターについては、交通の利便性が良好なことで多種多様な利用に対応できることが認知されてきたため、市外在住者や企業の利用が増加し、利用件数と使用料収入が昨年度よりも増加した。																														
（単位：円）																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																										
	24,729,000	22,786,963				5,163,553	17,623,410																									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																									
	1 項	総務管理費		第 節		()																									
	7 目	地域振興費		()		()																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	市民協働推進費																											
事業コード			事 業 名	NPO支援推進事業																											
目的及び事業内容		市民公益活動団体の活動支援の拠点として「石巻市NPO支援オフィス」を設置し、市民公益活動団体、市民、企業及び市の連携・交流の場所を提供することにより、市内で活動するNPOの育成・支援を図る。 1 石巻市NPO支援オフィスの施設管理業務 2 情報収集提供業務 3 相談事業 4 ネットワーク事業（石巻市NPO連絡会議の事務局）																													
取組実績		NPO支援を目的として活動している特定非営利活動法人いしのみきNPOセンターを、石巻市NPO支援オフィスの指定管理者とし、利用者の様々なニーズに対応した。 1 施設管理業務 (1) 会議室・ロッカー・メールボックスの貸出し (2) 機器利用サービス(印刷機・コピー機・裁断機・パソコン等の貸出し) 2 情報収集提供業務 (1) 市民公益活動情報の収集・提供 (2) 市民公益活動情報に関する図書資料の管理・貸出 (3) 機関紙作成・・・「んぼん舗」 毎月1回発行 (4) メルマガ作成・・・「んぼん舗」 発行 毎月1～2回発行 (5) 石巻かほく、石巻日日新聞への情報提供及び寄稿 3 相談業務・・・NPOについての相談・問い合わせ等に関する対応 (1) 団体設立、運営等、補助金等に係る相談 4 ネットワーク事業（石巻市NPO連絡会議の事務局） (1) 石巻市NPO連絡会議の全体会開催（平成31年2月） 5 研修業務（各団体の基盤向上のための研修の実施）年2回開催（①平成30年8月、②平成31年3月）																													
成 果		・石巻市NPO支援オフィス利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>来館者数</th> <th>会議室 利用数</th> <th>相談件数</th> <th>図 書 閲覧者数</th> <th>パソコン 利用者数</th> <th>機 器 利用者数</th> <th>掲示物 依頼数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29実績</td> <td>3,304人</td> <td>230件</td> <td>126件</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>416件</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>H30実績</td> <td>2,857人</td> <td>190件</td> <td>57件</td> <td>2人</td> <td>4人</td> <td>418件</td> <td>54件</td> </tr> </tbody> </table> ・石巻市市民公益活動団体 登録数 170団体（前年比17団体増） ・石巻市NPO連絡会議…石巻で活動するNPOの連携が図られた。 2月16日 市からの情報提供（条例改正など）、幹事会から提案（組織改編など） ・研修業務 ①8月23日 NPOの業務効率化のための「セールスフォース」講座 10人参加 ②3月7日 現場を動かすエンジン・コミュニケーション講座 21人参加						区分	来館者数	会議室 利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン 利用者数	機 器 利用者数	掲示物 依頼数	H29実績	3,304人	230件	126件	3人	2人	416件	23件	H30実績	2,857人	190件	57件	2人	4人	418件	54件
区分	来館者数	会議室 利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン 利用者数	機 器 利用者数	掲示物 依頼数																								
H29実績	3,304人	230件	126件	3人	2人	416件	23件																								
H30実績	2,857人	190件	57件	2人	4人	418件	54件																								
成果に係る評価		石巻市NPO支援オフィスの団体サポートの結果、市民公益活動団体の登録は前年度から17団体増加した。 また、ネットワーク事業において事務局機能を務めていた石巻市NPO連絡会議は、発足から3年が経ち、自立した運営体制の構築を模索するなど、支援の効果を感じることができた。																													
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	9,460,000	9,459,720				9,459,720																									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	復興計画	ともに創る協働のまち	()																																																														
	1 項	総務管理費		第 2 節		市民のまちづくりに対する関心を高める	()																																																														
	7 目	地域振興費		(2)		市民参加を促進する	()																																																														
実施計画掲載ページ		P14	中 事 業	地域振興関係費																																																																	
事業コード		001-002-002-00016	事 業 名	地域まちづくり委員会事業																																																																	
目的及び事業内容		合併による行政サービスの低下や各地域活性化を図るため、旧町単位に地域住民、行政、そして総合支所とが連携してまちづくりを進めることを目的に設置した。 事業内容として、各地域で積極的なまちづくり施策や、地域活性化対策の検討を行っている。																																																																			
取組実績		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">【開催実績】</th> <th rowspan="2">委員数</th> <th colspan="2">第1回</th> <th colspan="2">第2回</th> <th colspan="2">第3回</th> </tr> <tr> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地域まちづくり委員会</td> <td>11人</td> <td>11/15</td> <td>6名</td> <td>2/21</td> <td>9名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>雄勝地域まちづくり委員会</td> <td>18人</td> <td>6/22</td> <td>8名</td> <td>2/7</td> <td>12名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>河南地域まちづくり委員会</td> <td>18人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>桃生地域まちづくり委員会</td> <td>10人</td> <td>4/26</td> <td>10名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>北上地域まちづくり委員会</td> <td>18人</td> <td>8/23</td> <td>11名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地域まちづくり委員会</td> <td>12人</td> <td>10/12</td> <td>10名</td> <td>12/5</td> <td>8名</td> <td>2/19</td> <td>9名</td> </tr> </tbody> </table>						【開催実績】	委員数	第1回		第2回		第3回		開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数	河北地域まちづくり委員会	11人	11/15	6名	2/21	9名	-	-	雄勝地域まちづくり委員会	18人	6/22	8名	2/7	12名	-	-	河南地域まちづくり委員会	18人	-	-	-	-	-	-	桃生地域まちづくり委員会	10人	4/26	10名	-	-	-	-	北上地域まちづくり委員会	18人	8/23	11名	-	-	-	-	牡鹿地域まちづくり委員会	12人	10/12	10名	12/5	8名	2/19	9名
【開催実績】	委員数	第1回		第2回		第3回																																																															
		開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数																																																														
河北地域まちづくり委員会	11人	11/15	6名	2/21	9名	-	-																																																														
雄勝地域まちづくり委員会	18人	6/22	8名	2/7	12名	-	-																																																														
河南地域まちづくり委員会	18人	-	-	-	-	-	-																																																														
桃生地域まちづくり委員会	10人	4/26	10名	-	-	-	-																																																														
北上地域まちづくり委員会	18人	8/23	11名	-	-	-	-																																																														
牡鹿地域まちづくり委員会	12人	10/12	10名	12/5	8名	2/19	9名																																																														
成 果		【取組内容】 ・各地域まちづくり委員会では、下記の事項の説明及び協議を行った。 (河北) シチノリゾートを視察し、セヶ浜町生涯学習センターにて復興状況、セヶ浜町花節浜地区商業産業拠点形成促進計画、シチノホテル建築についてセヶ浜町職員から説明。提案書(案)、パークゴルフ場の整備、保育所の統合について、意見交換会を実施 (雄勝) 雄勝中心部地区拠点エリア整備事業、雄勝地区慰霊公園整備事業について、大原川人工ふ化工場整備事業について、大須崎灯台の恋する灯台認定について (桃生) 石巻市立小・中学校校区再編計画に係る桃生地域まちづくり委員会としてのまとめについて (北上) 自治システムについて、震災伝承のあり方について、北上小学校跡地利用について、相川運動公園グラウンドの活用について、丸山グラウンドについて (牡鹿) 十八浜地区ビーチパーク計画について、十八浜砂浜再生計画について 牡鹿地区拠点エリア整備事業全体計画について(各施設のオープン時期について)、牡鹿地区拠点エリア土地利用について(ランドデザイン)、牡鹿地区慰霊公園について																																																																			
成果に係る評価		平成30年度は各地域で積極的なまちづくり施策の検討を行ったが、開催回数は各委員会によってバラつきがある。委員会設置後10年以上が経過し、新市の一体感の醸成が図られている。 本年9月からは第8期委員となるが、委員の女性登用率は例年、目標の9割を達成している。 今後も各地域のまちづくり施策についての審議を重ね、地域活性化を図るため、委員会を継続する必要がある。																																																																			
(単位：円)																																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																															
	3,815,000	855,849				855,849																																																															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()															
	1 項	総務管理費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()															
	7 目	地域振興費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()															
実施計画掲載ページ		P 72	中 事 業		結婚支援事業費																	
事業コード		004-003-001-01089	事 業 名		結婚支援事業																	
目的及び事業内容		少子化の要因のひとつである未婚化に対する取組みとして、出会いの機会が少ない未婚男女への出会いの場の提供、セミナー開催等の結婚支援事業を実施し交際に至るまでを支援する。また、講習セミナーを行うことで、独身者の結婚に対する関心を高め、結婚意識の向上を促進する。 事業内容としては、婚活イベントの実施や婚活・恋活事業に対する補助金の交付を行っている。																				
取組実績		1 市主催婚活イベント事業内容 (1) 参加者募集 定員男女各25名・25歳以上から45歳以下※男性のみ市内在住 参加費:男性5,000円、女性3,000円 (2) 婚活事前セミナー ア 開催日:平成30年10月20日(土) 会場:生協文化会館7Fホール 参加者:24名(男・女) イ 開催日:平成30年11月3日(土) 会場:I R O R I 石巻 参加者:18名(男・女) ウ 開催日:平成30年11月17日(土) 会場:ビッグバン 参加者:17名(男・女) (3) 婚活イベント:平成30年12月2日(日) 会場:いしのまき元気いちば 2階元気食堂 内容:自己紹介、フリータイム、カップリングタイム (4) 補助事業 島コン in Ajishima (網地島青年部) 開催日:平成31年2月10日(月) 会場:網地島全島及び潮美荘 参加者:5名(男・女) ※内容:マナー等のセミナー、食事をしながらのフリートーク、全島周遊																				
成 果		婚活パーティーにおいては、6組のカップルが誕生した。 事前セミナーでは、ヘアスタイリング・洋服のコーディネーター、コミュニケーションのきっかけづくり(手相)、料理(餃子)を通じた共同作業などを行い、大変好評であった。 婚活パーティー(カップリングパーティー)実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">婚活パーティー</th> </tr> <tr> <th>募集</th> <th>参加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>25名</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>25名</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50名</td> <td>31名</td> </tr> </tbody> </table>							区分	婚活パーティー		募集	参加	男性	25名	18名	女性	25名	13名	合計	50名	31名
区分	婚活パーティー																					
	募集	参加																				
男性	25名	18名																				
女性	25名	13名																				
合計	50名	31名																				
成果に係る評価		6組のカップルが成立したが、交際に発展するまでには至らなかった。 今後は、結婚を望んでいる方のニーズを調査したうえで、婚活イベントに取組む団体に対する婚活事業を支援するよう進める。																				
(単位:円)																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	4,586,000		2,540,458		383,000		129,000	2,028,458														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																					
	1 項	総務管理費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																					
	7 目	地域振興費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()																					
実施計画掲載ページ		P 35、P 36	中 事 業		国内姉妹都市・友好都市交流推進費																							
事業コード		002-003-001-00019、00020、01194	事 業 名		国内姉妹都市・友好都市交流事業																							
目的及び事業内容		各市町との連携を深め、友好協力関係を促進すると共に、産業・文化・歴史などそれぞれの特性を活かした交流事業の実施と地域の活性化を図ることを目的とする。 【山口県萩市】萩市を訪問しての交流並びにスタンプラリーを実施し、友好関係を促進した。 【山形県河北町】相互を訪問するツアーを通じ、市町の友好関係並びに相互理解を促進した。 【茨城県ひたちなか市】隔年ごとに「派遣」と「受入」を相互に行い、平成30年度は本市にて、柔道・空手道のスポーツ少年団交流を行い友好関係の促進を図った。																										
取組実績		【山口県萩市との交流事業】 1 歴史探訪 川村孫兵衛重吉“ゆかりの地”を巡ろう! (スタンプラリー)の開催 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(1)日 程:平成30年7月1日～8月31日</td> <td>(2)場 所:石巻市内、萩市内</td> </tr> <tr> <td>(3)参加者:石巻市265名、萩市44名程度 延べ309名程度</td> <td>(4)両市制覇者:9名</td> </tr> </table> 2 友好都市交流事業(訪問) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(1)日 程:平成30年8月2～4日の3日間</td> <td>(2)訪問場所:山口県萩市</td> </tr> <tr> <td>(3)対 象:寺崎はねこ踊り保存会、中高生及び保護者・関係者 33名</td> <td>(4)内 容:萩市夏まつりへの参加、萩市にある歴史建造物及び文化財の見学</td> </tr> </table> 【山形県河北町との交流】 1 友好都市山形県河北町さくらんぼ祭りツアー <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(1)日 程:平成30年6月23日</td> <td>(2)場 所:山形県河北町</td> </tr> <tr> <td>(3)参加者:84名</td> <td>(4)内 容:さくらんぼ祭り、町内名所巡り</td> </tr> </table> 2 大漁まつり見学ツアー <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(1)日 程:平成30年10月12日</td> <td>(2)場 所:石巻魚市場ほか</td> </tr> <tr> <td>(3)参加者:山形県河北町市民79名</td> <td>(4)内 容:大漁まつり見学ほか</td> </tr> </table> 【茨城県ひたちなか市との交流】 1 ひたちなか市・石巻市姉妹都市交流事業(柔道・空手道スポーツ少年団交流) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(1)日 程:平成30年10月6～7日</td> <td>(2)場 所:石巻市総合体育館ほか</td> </tr> <tr> <td>(3)参加者:ひたちなか市柔道・空手道スポーツ少年団及びその関係者 26名 石巻市柔道・空手道スポーツ少年団及びその関係者 25名</td> <td>(4)内 容: 石巻市長杯第1回「武道の街 石巻」柔道・空手道交流大会 ◆ひたちなか市・石巻市合同稽古並びに両市交流戦 ◆2018武道フェスティバル石巻への参加</td> </tr> </table>							(1)日 程:平成30年7月1日～8月31日	(2)場 所:石巻市内、萩市内	(3)参加者:石巻市265名、萩市44名程度 延べ309名程度	(4)両市制覇者:9名	(1)日 程:平成30年8月2～4日の3日間	(2)訪問場所:山口県萩市	(3)対 象:寺崎はねこ踊り保存会、中高生及び保護者・関係者 33名	(4)内 容:萩市夏まつりへの参加、萩市にある歴史建造物及び文化財の見学	(1)日 程:平成30年6月23日	(2)場 所:山形県河北町	(3)参加者:84名	(4)内 容:さくらんぼ祭り、町内名所巡り	(1)日 程:平成30年10月12日	(2)場 所:石巻魚市場ほか	(3)参加者:山形県河北町市民79名	(4)内 容:大漁まつり見学ほか	(1)日 程:平成30年10月6～7日	(2)場 所:石巻市総合体育館ほか	(3)参加者:ひたちなか市柔道・空手道スポーツ少年団及びその関係者 26名 石巻市柔道・空手道スポーツ少年団及びその関係者 25名	(4)内 容: 石巻市長杯第1回「武道の街 石巻」柔道・空手道交流大会 ◆ひたちなか市・石巻市合同稽古並びに両市交流戦 ◆2018武道フェスティバル石巻への参加
(1)日 程:平成30年7月1日～8月31日	(2)場 所:石巻市内、萩市内																											
(3)参加者:石巻市265名、萩市44名程度 延べ309名程度	(4)両市制覇者:9名																											
(1)日 程:平成30年8月2～4日の3日間	(2)訪問場所:山口県萩市																											
(3)対 象:寺崎はねこ踊り保存会、中高生及び保護者・関係者 33名	(4)内 容:萩市夏まつりへの参加、萩市にある歴史建造物及び文化財の見学																											
(1)日 程:平成30年6月23日	(2)場 所:山形県河北町																											
(3)参加者:84名	(4)内 容:さくらんぼ祭り、町内名所巡り																											
(1)日 程:平成30年10月12日	(2)場 所:石巻魚市場ほか																											
(3)参加者:山形県河北町市民79名	(4)内 容:大漁まつり見学ほか																											
(1)日 程:平成30年10月6～7日	(2)場 所:石巻市総合体育館ほか																											
(3)参加者:ひたちなか市柔道・空手道スポーツ少年団及びその関係者 26名 石巻市柔道・空手道スポーツ少年団及びその関係者 25名	(4)内 容: 石巻市長杯第1回「武道の街 石巻」柔道・空手道交流大会 ◆ひたちなか市・石巻市合同稽古並びに両市交流戦 ◆2018武道フェスティバル石巻への参加																											
成 果		【山口県萩市】宮城県無形民族文化財にも指定されている寺崎はねこ踊り保存会33名による萩市の訪問並びに両市が連携したスタンプラリーの実施により、両市民の相互理解を深めることができた。 【山形県河北町】それぞれの特性に応じた見学ツアーを実施し、相互理解と友好関係を促進することができた。 【茨城県ひたちなか市】本市を会場に武道(柔道・空手道)スポーツ少年団との交流を実施したことにより、新たな分野での両市民間の友好関係を築くことができた。																										
成果に係る評価		【山口県萩市】寺崎はねこ踊り保存会の萩市夏まつりの参加並びにスタンプラリーの実施により、相互理解が深まった。今後も地域活性化と両市民の友好協力関係を促進するため、交流事業の継続が必要である。 【山形県河北町】各事業での相互の連携が図られており、両市町間にも友好都市としての認知度が高く、地域の活性化と友好協力関係の推進のため、交流事業の継続が必要である。 【茨城県ひたちなか市】スポーツ少年団交流事業の実施により、これまで継続してきた友好関係を繋ぎ広げることができた。今後も両市の友好関係促進のため、交流事業の継続が必要である。																										
(単位:円)																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	5,905,000		5,346,604				252,000	5,094,604																				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第6章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第1節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()	
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()	
実施計画掲載ページ		P119	中 事 業	地域交流・定着支援等事業費				
事業コード		006-001-001-01090	事 業 名	移住対策事業〔地方創生〕				
目的及び事業内容		<p>移住希望者の移住支援や移住者で起業を考える方を対象にした人材育成事業、移住者及び地域住民との交流の場を提供する移住交流事業等を通して、移住促進を図ることを目的とする。</p> <p>事業内容として、全国11の自治体の構成によるローカルベンチャー推進協議会を設立し、首都圏等から起業を志望する人材を獲得し、移住定住を図る。</p>						
取組実績		<p>1 スマートな地域資源活用創造(プロデュース)事業委託業務 期間：H30/4/1～H31/3/31</p> <p>(1) 移住コンシェルジュ設置(コンシェルジュ2名体制、移住相談件数35名、移住者10名)</p> <p>ア 移住相談窓口の設置(情報の提供、首都圏等でPR)</p> <p>イ 移住体験ツアー(企画名:ウミネコキャラバン、開催回数:2回、参加者数:24名)</p> <p>(2) 石巻チャレンジワーキング</p> <p>ア 地元で起業した代表者を講師で招いた研修会(開催回数:5回、参加者数:61名)</p> <p>イ 起業志望者を対象とした体験型事業(開催回数:1回、参加者数:12名)</p> <p>(3) 石巻版松下村塾</p> <p>ア 起業型人材育成講座(講座回数:7回、参加者数:66名)</p> <p>(4) 地域交流・定着支援事業</p> <p>ア 本市に移住した者、地域住民等との交流会(開催回数:6回、参加者数:202名)</p> <p>(5) 空き家の活用事業</p> <p>ア オモシロ不動産大作戦「マッチング」、「起業支援」、「リノベーション」を題目とした講座やワークショップ等を開催</p> <p>マッチングコース(開催回数:3回、参加者数:44名)</p> <p>スタートアップコース(開催回数:5回、参加者数:58名)</p> <p>エコリノベプロフェッショナルスクール(開催回数:1回、参加者数:21名)</p> <p>2 地域活躍支援推進事業委託業務 期間：H30/4/1～H31/3/31</p> <p>(1) 移住・定住総合情報発信</p> <p>ア 起業志望者向けホームページ・求人情報サイトの運営、イベント参加、レポート作成等</p> <p>(2) 総合調整管理業務(コンソーシアム「ハグクミ」の各事業の調整、会議等の日程調整業務)</p> <p>3 ローカルベンチャー関連事業</p> <p>・協議会名：ローカルベンチャー推進協議会(平成28年9月7日設立)</p> <p>・参加自治体数：11自治体(平成30年度は熊本県南小国町が参画)</p> <p>(1) メディア・人材マッチング</p> <p>ア 地域仕掛け人市(開催日H30/6/30、場所:東京都 参加者550名)</p> <p>イ ローカルシフト(開催日H30/10/27、場所:仙台市 参加者30名)</p> <p>ウ ローカルベンチャーサミット(開催日H30/11/2、場所:東京都 参加者150名)</p> <p>エ 地域オモシロ大作戦(開催日H31/2/23、場所:東京都 参加者114名)</p> <p>(2) 事業成長支援(協議会参画自治体職員対象研修)</p> <p>ア 自治体合同合宿 島根県雲南市開催 H30/7/10～12・岩手県釜石市開催 H31/1/28～30</p> <p>(3) ローカルベンチャー研究会</p> <p>ローカルベンチャーブートキャンプ(ローカル事務局を対象とした起業支援を戦略的に進めるための研修会) 開催日H31/1/30</p> <p>4 ローカルベンチャー推進協議会ローカル事務局委託業務 期間：H30/4/1～H31/3/31</p> <p>5 ローカルベンチャー講演会実施業務</p> <p>(1) 講師:元読売巨人 桑田真澄氏(開催日H30/9/29、場所:桃生公民館 参加者185名)</p>						
成 果		<p>移住コンシェルジュによる相談窓口の開設によって、移住相談件数は35件で、移住者10名が本市へ移住した。また、人材育成事業においては、実践的な実習や知識・技能を身に付けられる全7回の講座を開催し、起業志望者への意識向上に寄与することができた。</p>						
成果に係る評価		<p>移住相談窓口、人材・起業家等の育成、定住促進、空き家活用等の事業を相互に連携しながら、総合的かつ多角的に事業を推進し、地域の活性化にも貢献した。今後も引き続き人材の獲得を目指し、移住定住施策を弾力的かつ継続的に事業を進めていく。</p>						
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	60,193,000		60,046,028		29,777,544		29,777,544	490,940

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第6章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第1節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()	
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()	
実施計画掲載ページ		P120	中 事 業	地域振興関係費				
事業コード		006-001-001-01241	事 業 名	地域おこし協力隊設置事業				
目的及び事業内容		<p>本事業は、本市への定住・定着を図ることを目的に三大都市圏・政令指定都市の住民で、地域活性化に資する人材の受け入れを希望する市内事業者を紹介し、就労していただきながら定住・定着事業を進めている。事業内容として、雄勝、北上、牡鹿の地域活性化事業への就労のほか、観光振興、医療・介護及び生活支援事業、さらには6次産業化等の事業就労を経験していただきながら、進めている。</p>						
取組実績		<p>1 地域おこし協力隊員の新たな配置</p> <p>(1) 面接日：平成30年7月4日</p> <p>(2) 受験者：九州在住者、40代、女性</p> <p>(3) 委嘱状交付式：平成30年8月20日(協力隊員として委嘱)</p> <p>(4) 業種：訪問看護・訪問医療</p> <p>2 第3回みやぎ移住フェア</p> <p>(1) 実施日：平成30年8月3日</p> <p>(2) 場所：ふるさと回帰センター</p> <p>(3) 参加者：地域おこし協力隊員1名</p> <p>3 現地域おこし協力隊員のヒアリング</p> <p>(1) 実施日：平成30年9月11日、平成30年11月19日</p> <p>(2) 対象者：配置1年目の地域おこし協力隊員(1名)</p> <p>(3) 内容：1年を経過しての感想及び2年目の実現したい成果、行為目標、定量目標</p> <p>4 地域おこし協力隊員の面接</p> <p>(1) 面接日：平成31年3月7日</p> <p>(2) 受験者：東京在住者、10代、男性</p> <p>(3) 委嘱状交付式：平成31年度協力隊員として委嘱予定</p> <p>(4) 業種：観光振興事業</p> <p>※事務局にて、毎月定例会議(右腕会議)を実施した</p>						
成 果		<p>前年度の隊員1名委嘱に引き続き、今年度も1名の隊員が決定した。</p> <p>また、平成29年度に委嘱した隊員のヒアリング調査を2回実施し、1年間の事業に対する自己評価等の他、今後の事業計画や目標設定等を明確にすることで、次年度に向けた事業の方向性を確認することができた。</p>						
成果に係る評価		<p>平成30年度においては1名の隊員追加及び次年度の隊員獲得予定に伴い、より多くの分野で地域振興及び地域活性化に寄与するものと期待できる。地域おこし協力隊の募集にあたっては、適切な人材確保を行うため、首都圏を中心としたイベントを積極的に参加して広報していく他に、地域おこし協力隊のホームページでの募集以外に移住のホームページ等へ掲載して、引き続き募集に力を入れていく。</p>						
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	25,964,000		9,038,000				9,038,000	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	復興計画	()											
	1 項	総務管理費			()											
	7 目	地域振興費			()											
実施計画掲載ページ			中 事業	スポーツ交流関係事業費												
事業コード			事業名	スポーツ交流関係事業												
目的及び事業内容		<p>本事業は、スポーツ交流イベント・大会運営業務の実施を委託することで、市民を中心に幅広く参加者を募り、スポーツを通じた交流の場を創出し、スポーツ交流人口の増加やスポーツの楽しさ、魅力を体感しながら市民の一体感の醸成、健康増進を図ることを目的に行う。</p> <p>事業内容として、オリンピック種目で、「武道の街 石巻」を提唱している「空手」、「柔道」の2種目を実施するほか、その他スポーツ交流事業を行う。</p>														
取組実績		<p>1 石巻川開き祭りスケートボードパフォーマンスイベント（H30.7.31） 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の新規採用種目であり、若者を中心に人気のあるスケートボードの第18回アジア競技大会チャンピオンなどによるパフォーマンス、体験会を地元の伝統的祭事である石巻川開き祭り内で実施した。</p> <p>2 石巻市長杯第1回「武道の街 石巻」柔道・空手道交流大会（H30.10.6） 東日本大震災発生時に被災者が互いに協力し合い、支え合っていた光景は、日本古来の武士道精神に基づくものであることから、柔道・空手道を通して、今後の石巻市を担う子供達の教育と、スポーツ交流の場を創出することを目的に交流大会を実施した。 また、姉妹都市である茨城県ひたちなか市の選手との交流試合も開催し、スポーツ競技を通じた交流を図った。</p> <p>3 RUNMEETING石巻2018（H30.10.20） スポーツランニングの楽しさや魅力を発信するとともに、地域におけるランニングコミュニティの活性化を目指し、東京国際女子マラソン等で優勝経験のある谷川真理氏をはじめ、ゲストランナーによるランニングレッスンを開催した。</p> <p>4 内村周子スポーツフェスティバル×ニューススポーツ体験会（H31.3.16） 体を動かす楽しさや魅力を体感しながら、市民間の交流及び健康増進を図るため、リオデジャネイロオリンピック体操個人総合と団体で金メダルを獲得した内村航平選手の母親である内村周子氏による体操教室を開催した。</p>														
成果		<p>スポーツを通じた交流の場を創出するとともに、スポーツ交流人口の増加が図られた。</p> <p>1 石巻川開き祭りスケートボードパフォーマンスイベント 参加者数：7人 2 石巻市長杯第1回「武道の街 石巻」柔道・空手道交流大会 参加者数：108人 3 RUNMEETING石巻2018 参加者数：34人 4 内村周子スポーツフェスティバル×ニューススポーツ体験会 参加者数：69人</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">参加者数（人）</th> <th rowspan="2">達成率（%）</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>280</td> <td>218</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table>					年度	参加者数（人）		達成率（%）	目標値	実績値	H30	280	218	77
年度	参加者数（人）		達成率（%）													
	目標値	実績値														
H30	280	218	77													
成果に係る評価		<p>市民がスポーツに対して関心を高め、スポーツ交流人口の増加が図られるよう各種取組を実施した。平成30年度は市長杯を冠した柔道・空手道交流大会を初開催したが、今後も継続して大会を実施するに当たり、見直し・検討を重ね、参加者に満足いただける大会となるよう改善を図っていく。</p> <p>今後、本業務において、石巻市ならではのスポーツ交流事業を企画立案し、定着させるとともに、参加者数の増加を図り、市民の健康増進につながるよう事業を進める。</p>														
（単位：円）																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源										
	6,000,000	5,188,860			4,000,000	1,188,860										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	()											
	1 項	総務管理費			()											
	7 目	地域振興費			()											
実施計画掲載ページ			中 事業	スポーツ交流関係事業費												
事業コード			事業名	東京オリンピック・パラリンピック機運醸成事業												
目的及び事業内容		<p>「復興五輪」と称される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を本市の復興を発信する絶好の機会と捉えるとともに、この機会を通じて、これまで支援をいただいた方々に対する感謝・御礼を行う。</p> <p>チュニジア共和国の関係者等と市民との交流を行う「ホストタウン」事業、オリンピック・パラリンピックの事前合宿関連事業及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成事業を実施する。</p>														
取組実績		<p>1 チュニジア共和国とのホストタウン事業 (1) チュニジア共和国への渡航（H30.5.21～26／H31.3.21～23） 政府関係者やオリンピック委員会等へ復興支援に対する御礼と、ホストタウン登録されたことを報告するとともに、大会開催に当たって「来日する選手等」との交流を要請した。 (2) チュニジア共和国とのホストタウン事業に関する授業（H30.6.22） オリンピック・パラリンピック教育推進校である石巻市立真山小学校にて、チュニジア共和国とのホストタウンについて考える授業を実施した。 (3) チュニジア共和国剣道ナショナルチームとの交流事業（H30.9.17～20） チュニジア共和国剣道ナショナルチームが、市内スポーツ少年団との合同稽古、復興状況の視察を実施した。 (4) チュニジア共和国オリンピック委員会視察受入れ事業（H30.12.1～3） 市内スポーツ施設の視察及び市内スポーツ団体との意見交換会を実施した。</p> <p>2 オリンピックデー・フェスタ in いしのまき（H30.7.14） 日本人オリンピックと地元小学生等が運動会形式で交流するスポーツイベントを実施した。</p> <p>3 東京オリンピック・パラリンピック企画展（H30.10.1～11.30） 1964年東京オリンピックから現在までの石巻のスポーツ史や、アスリートの身体能力の高さを体感できる企画展を、石巻市総合体育館にて開催した。</p> <p>4 石巻野球フェスティバル・ティポール体験教室（H30.11.23／H30.6～11） 市民の健康増進と野球振興を目的とした野球体験イベント、幼児向けのティポール体験教室を実施した。</p> <p>5 あすチャレ！ School（H31.2.5～8） 障がいやバラスポーツへの新たな気づきや学びにつながることを目的に、子どもたちがバラスポーツを実際に体験する事業を、市内小・中学校5校で実施した。</p> <p>6 ありがとう聖火台～感謝の集い～（H31.3.24） 賞与されていた旧国立競技場聖火台の返還セレモニーを石巻市総合運動公園にて実施した。</p>														
成果		<p>ホストタウン事業では、チュニジア共和国のオリンピック委員会や剣道ナショナルチームに来石いただき、事前合宿の検討に係る市内スポーツ施設の視察を実施したほか、市民等との交流も図られた。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた各種取組を実施し、特に将来を担う子どもたちへの機運醸成が図られた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">参加者数（人）</th> <th rowspan="2">達成率（%）</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>1,150</td> <td>6,336</td> <td>550</td> </tr> </tbody> </table>					年度	参加者数（人）		達成率（%）	目標値	実績値	H30	1,150	6,336	550
年度	参加者数（人）		達成率（%）													
	目標値	実績値														
H30	1,150	6,336	550													
成果に係る評価		<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、各種取組を実施し、機運醸成に取り組んだが、市民の認知度を高めるPR方法や国等からの支援も併用し、より効果的に機運を高めていく必要がある。</p> <p>また、ホストタウン事業、事前合宿関連事業等を推進するために、民間団体及び他自治体と一体となった受入体制を構築する必要がある。</p>														
（単位：円）																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源										
	18,731,457	15,553,114			4,245,000	11,308,114										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()													
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()													
	8 目	離島振興費		(2)	離島の交通手段を確保する		()													
実施計画掲載ページ		P 127	中 事 業		離島振興対策費															
事業コード		006-004-002-00015	事 業 名		離島航路維持事業															
目的及び事業内容																				
<p>田代島や網地島などの離島住民の生活を支える離島航路の安定的な運航確保を目的に、航路事業者に運航費補助等を行う。事業内容として、航路事業者への運航経営安定のための欠損分補助、離島住民の夜間救急搬送を目的とした田代島船待機に対する費用負担、離島住民運賃割引の実施に対する補助金の交付などを実施する。</p>																				
取組実績																				
<p>1 離島航路維持費補助金の交付 離島航路事業者が安全で安定的な航路運営を実現するため、国、県と協調しながら、航路維持費の欠損分の補助を行った。</p> <p>2 離島航路経営安定化補助金の交付 夜間救急医療対策における患者の救急搬送を行うため、田代島への船舶及び船員を待機させる費用を航路事業者に補助金として交付した。 また、平成28年10月から平成30年8月末までの間、大泊港災害復旧工事のため、大泊港が抜港となっていたことから、大泊港から仁斗田港の乗客輸送などの抜港に要した費用に対して補助を行った。</p> <p>3 離島住民運賃割引の実施に対する補助金の交付 島民唯一の公共交通機関として、利便性向上を目的に島民の運賃割引を実施し、運賃収入欠損分について支援を行った。</p>																				
成果																				
<p>島内人口の減少や高齢化及び過疎化の進展により、島民の輸送人員は減少しており、事業者の経営状況は厳しいものとなっているが、事業者の経営努力や観光施設の復旧等による観光客数の増加によって、交流人口は増加しており、安定した航路運航が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>離島航路利用者数</td> <td>68,578人</td> <td>85,553人</td> <td>94,376人</td> <td>90,084人</td> <td>94,310人</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成30年5月18日 網地島から石巻へ患者を夜間救急搬送した。 平成30年6月18日 網地島から石巻へ患者を夜間救急搬送した。 平成30年11月1日 田代島から石巻へ患者を夜間救急搬送した。</p>									年度	H26	H27	H28	H29	H30	離島航路利用者数	68,578人	85,553人	94,376人	90,084人	94,310人
年度	H26	H27	H28	H29	H30															
離島航路利用者数	68,578人	85,553人	94,376人	90,084人	94,310人															
成果に係る評価																				
<p>平成30年12月より、高速フェリー（マーメイドⅡ）、平成31年2月より中型旅客船（シーキャット）がそれぞれ竣工し、また中央地区に新たな発着待合所開設など、本航路事業促進に向けて、利便性が向上したこと、また、観光客等離島航路利用者の増加による利用者増加など、経営基盤が安定し、安心、安全な航路運営が図られた。 今後も離島航路維持に努めていく必要がある。</p>																				
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	17,783,000		6,077,619		1,127,324			4,950,295												

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す														
	1 項	総務管理費		第 節			(5)	生活環境の整備														
	8 目	離島振興費		()			(3)	公共交通の復旧														
実施計画掲載ページ		P 186	中 事 業		離島振興対策費																	
事業コード		002-503-003-01224	事 業 名		離島航路駐車場整備事業																	
目的及び事業内容																						
<p>本航路は、本土と田代島、網地島などの離島をつなぐ唯一の交通機関であり、欠かすことのできない生活基盤となっている。また、田代島及び網地島は、観光地としても全国的に有名であり、多くの観光客が訪れていることも踏まえ、島民をはじめとして、航路利用者の安全確保と更なる利用拡大を図ることを目的とし、離島航路駐車場整備事業を実施する。</p>																						
取組実績																						
<p>1 用地買収 離島航路駐車場整備事業に必要な土地について、8筆中5筆の用地買収が完了した。また、その他の土地についても、用地買収に向けた交渉等を実施した。</p> <p>2 離島航路利用者駐車場不動産評価鑑定評価業務 離島航路駐車場整備事業エリアは全て防災集団移転促進事業の移転促進区域内であり、地権者への公平性の観点から鑑定評価の整合性を取るため、不動産鑑定評価業務を実施した。</p> <p>3 離島航路駐車場測量設計業務 駐車場整備事業を実施するため、必要な測量及び駐車場整備の詳細設計を実施した。</p>																						
成果																						
<p>平成30年度に離島航路駐車場整備事業に係る用地買収の交渉を実施し、8筆中5筆の用地買収が完了し、その他の用地については、令和元年度に完了する予定である。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">指標項目</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th colspan="2">事業進捗率（用地買収）</th> </tr> <tr> <td></td> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>4,972㎡</td> <td>3,500㎡</td> <td>70%</td> </tr> </tbody> </table>									年度	指標項目		達成率	事業進捗率（用地買収）			目標値	実績値		H30	4,972㎡	3,500㎡	70%
年度	指標項目		達成率																			
	事業進捗率（用地買収）																					
	目標値	実績値																				
H30	4,972㎡	3,500㎡	70%																			
成果に係る評価																						
<p>平成30年度に離島航路駐車場測量設計業務が完了し、令和元年度からの離島航路駐車場整備事業に向け、事業の進捗が図られた。 また、用地買収については、平成30年度に8筆中5筆の用地買収が完了しており、その他の用地については、令和元年度内の完了を目標として進める。 なお、駐車場整備予定地付近については、堤防工事や南浜津波復興祈念公園整備（仮称）等の様々な復興事業が予定されていることから、今後も関係機関と連携しながら事業を進めていく必要がある。</p>																						
(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	118,317,170		87,616,434			83,200,000		4,416,434														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																													
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																																																													
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																																																													
実施計画掲載ページ		P127	中 事 業	地域交通対策関係費																																																																
事業コード	006-004-001-00011	事 業 名	住民バス運行費補助事業																																																																	
目的及び事業内容	<p>公共的な移動手段がない交通不便地区の解消に向け、牡鹿地域を除く9地区で住民バス運行協議会を設立し、各地区にあった形態で住民主体の住民バスや乗合タクシーを運行し、地域住民の足の確保に対する支援を目的に補助金を交付している。事業内容として、それぞれの運行協議会に補助金を交付し事業支援を行っている。</p>																																																																			
取組実績	<p>9地区の運行協議会に対して運行費補助を行い、市民の移動手段の確保を行った。また、一部路線では防災集団移転団地への乗り入れのため、経路変更を実施した。</p> <p>平成30年度運行協議会別補助金の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>運行主体</th> <th>運行形態</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>7,977,528円</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>雄勝地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>22,964,978円</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>河南地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>デマンド運行</td> <td>8,114,963円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>桃生地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>11,720,623円</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>北上地区住民バス等運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>8,103,076円</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>稲井地域乗合タクシー運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>7,098,188円</td> </tr> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>荻浜地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>11,710,300円</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>山の手地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>デマンド運行</td> <td>4,981,272円</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会</td> <td>デマンド運行</td> <td>3,553,810円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>86,224,738円</td> </tr> </tbody> </table>								名 称	運行主体	運行形態	補助金額	河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	定時定路線	7,977,528円	雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	定時定路線	22,964,978円	河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	デマンド運行	8,114,963円	桃生地区住民バス	桃生地区住民バス運行協議会	定時定路線	11,720,623円	北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	定時定路線	8,103,076円	稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	定時定路線	7,098,188円	荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	定時定路線	11,710,300円	山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	デマンド運行	4,981,272円	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	デマンド運行	3,553,810円	合計			86,224,738円																
名 称	運行主体	運行形態	補助金額																																																																	
河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	定時定路線	7,977,528円																																																																	
雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	定時定路線	22,964,978円																																																																	
河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	デマンド運行	8,114,963円																																																																	
桃生地区住民バス	桃生地区住民バス運行協議会	定時定路線	11,720,623円																																																																	
北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	定時定路線	8,103,076円																																																																	
稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	定時定路線	7,098,188円																																																																	
荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	定時定路線	11,710,300円																																																																	
山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	デマンド運行	4,981,272円																																																																	
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	デマンド運行	3,553,810円																																																																	
合計			86,224,738円																																																																	
成 果	<p>運行費の補助により、住民バス及び乗合タクシーが安定して運行され、地域住民の日常生活における移動手段が確保された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>4,845人</td> <td>1,647便</td> <td>5,501人</td> <td>1,674便</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>9,464人</td> <td>7,636便</td> <td>10,346人</td> <td>8,186便</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>4,802人</td> <td>3,148便</td> <td>5,266人</td> <td>3,248便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>8,662人</td> <td>2,342便</td> <td>8,636人</td> <td>1,952便</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>7,782人</td> <td>1,440便</td> <td>6,871人</td> <td>1,334便</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>8,840人</td> <td>4,420便</td> <td>8,241人</td> <td>4,394便</td> </tr> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>5,287人</td> <td>1,444便</td> <td>3,557人</td> <td>954便</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>9,759人</td> <td>5,561便</td> <td>9,013人</td> <td>4,991便</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>7,577人</td> <td>4,328便</td> <td>7,651人</td> <td>4,422便</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>67,018人</td> <td>31,966便</td> <td>65,082人</td> <td>31,155便</td> </tr> </tbody> </table>								名 称	H29		H30		利用者数	便数	利用者数	便数	河北地区住民バス	4,845人	1,647便	5,501人	1,674便	雄勝地区住民バス	9,464人	7,636便	10,346人	8,186便	河南地区乗合タクシー	4,802人	3,148便	5,266人	3,248便	桃生地区住民バス	8,662人	2,342便	8,636人	1,952便	北上地区住民バス	7,782人	1,440便	6,871人	1,334便	稲井地域乗合タクシー	8,840人	4,420便	8,241人	4,394便	荻浜地区住民バス	5,287人	1,444便	3,557人	954便	山の手地区乗合タクシー	9,759人	5,561便	9,013人	4,991便	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	7,577人	4,328便	7,651人	4,422便	合計		67,018人	31,966便	65,082人	31,155便
名 称	H29		H30																																																																	
	利用者数	便数	利用者数	便数																																																																
河北地区住民バス	4,845人	1,647便	5,501人	1,674便																																																																
雄勝地区住民バス	9,464人	7,636便	10,346人	8,186便																																																																
河南地区乗合タクシー	4,802人	3,148便	5,266人	3,248便																																																																
桃生地区住民バス	8,662人	2,342便	8,636人	1,952便																																																																
北上地区住民バス	7,782人	1,440便	6,871人	1,334便																																																																
稲井地域乗合タクシー	8,840人	4,420便	8,241人	4,394便																																																																
荻浜地区住民バス	5,287人	1,444便	3,557人	954便																																																																
山の手地区乗合タクシー	9,759人	5,561便	9,013人	4,991便																																																																
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	7,577人	4,328便	7,651人	4,422便																																																																
合計		67,018人	31,966便	65,082人	31,155便																																																															
成果に係る評価	<p>乗合タクシー及び住民バスの運行により、地域住民の足が確保された。さらには、仮設住宅の解消に伴い、運行経路の変更や運賃等の見直しを図り、震災対応から通常の運行体制へ少しずつ体制を整えることが出来た。 今後は利用者の利便性確保のため、運行協議会と運行経路や運行ダイヤなどの協議を進める。</p>																																																																			
(単位：円)																																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
	86,705,508	86,224,738	14,288,837	4,984,000		66,951,901																																																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																														
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																														
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																														
実施計画掲載ページ		P127	中 事 業	牡鹿地区市民バス運行事業費																																	
事業コード	006-004-001-00012	事 業 名	牡鹿地区市民バス運行事業																																		
目的及び事業内容	<p>牡鹿地区には、網地島を含め交通事業者がなく、地域住民の生活に必要な旅客輸送を確保することが困難な交通空白地帯であり、市が市民バスを運行し、当該地域の移動手段の支援を目的に進めている。業務内容としては、市が4台の車両を保有し、委託先に貸与して事業を行っている。</p>																																				
取組実績	<p>下記路線において、市民バスの運行を実施した。 平成30年度においても昨年同様、防災集団移転の宅地造成に伴い、主要道路から団地内へ乗り入れするものとし、利用者の利便性の向上を図るため、運行経路の変更を実施した。</p> <p>運行概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th colspan="4">運行状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～鮎川線</td> <td>平日 13便/日</td> <td>土曜日 4便/日</td> <td>日・祝日・年末年始は原則運休</td> <td></td> </tr> <tr> <td>泊～清優館線</td> <td>平日 7便/日</td> <td>土曜日 4便/日</td> <td>日・祝日・年末年始は原則運休</td> <td></td> </tr> <tr> <td>泊～大原線</td> <td>平日 1便/日</td> <td>土・日・祝日・年末年始は原則運休</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>網地島線</td> <td colspan="4">4便/日 年末年始は運休</td> </tr> </tbody> </table> <p>防災集団移転団地への乗り入れ地区 小網倉・大原・大谷川・谷川・給分・小淵浜北・南・十八成・寄磯・清崎・新田の各団地において、団地内にバス停を設置し、利便性向上を図った。</p>								路線名	運行状況				寄磯～鮎川線	平日 13便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休		泊～清優館線	平日 7便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休		泊～大原線	平日 1便/日	土・日・祝日・年末年始は原則運休			網地島線	4便/日 年末年始は運休							
路線名	運行状況																																				
寄磯～鮎川線	平日 13便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休																																		
泊～清優館線	平日 7便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休																																		
泊～大原線	平日 1便/日	土・日・祝日・年末年始は原則運休																																			
網地島線	4便/日 年末年始は運休																																				
成 果	<p>市民バスの運行により地域住民の移動手段が確保され、日常生活における通院・買物等の移動支援が図られた。また、スクールバスとしての機能を果たしており、小学生の安全な通学手段が確保されている。</p> <p>市民バス運行実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般利用</td> <td>16,195人</td> <td>15,760人</td> <td>15,424人</td> </tr> <tr> <td>教育目的利用</td> <td>8,907人</td> <td>9,424人</td> <td>9,523人</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>25,102人</td> <td>25,184人</td> <td>24,947人</td> </tr> <tr> <td>運行便数</td> <td>7,208便</td> <td>7,259便</td> <td>7,286便</td> </tr> </tbody> </table> <p>○教育目的利用区間</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th colspan="2">利用区間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～鮎川線</td> <td colspan="2">寄磯～小淵(上り4便、下り4便)</td> </tr> <tr> <td>泊～清優館線</td> <td colspan="2">鮎川金山～鮎川小(上り1便、下り2便)</td> </tr> </tbody> </table>									H28	H29	H30	一般利用	16,195人	15,760人	15,424人	教育目的利用	8,907人	9,424人	9,523人	利用者数合計	25,102人	25,184人	24,947人	運行便数	7,208便	7,259便	7,286便	路線名	利用区間		寄磯～鮎川線	寄磯～小淵(上り4便、下り4便)		泊～清優館線	鮎川金山～鮎川小(上り1便、下り2便)	
	H28	H29	H30																																		
一般利用	16,195人	15,760人	15,424人																																		
教育目的利用	8,907人	9,424人	9,523人																																		
利用者数合計	25,102人	25,184人	24,947人																																		
運行便数	7,208便	7,259便	7,286便																																		
路線名	利用区間																																				
寄磯～鮎川線	寄磯～小淵(上り4便、下り4便)																																				
泊～清優館線	鮎川金山～鮎川小(上り1便、下り2便)																																				
成果に係る評価	<p>牡鹿地区の人口減少に伴い、一般利用者は昨年度に比べ減少している状況であるが、教育目的利用者は平成29年度から増加傾向にある。これは、平成29年度から実施している防災集団移転団地への乗り入れ等の実施により教育目的利用者だけではなく、移動手段を持たない交通弱者の利便性向上に繋がり、通院・買物の移動手段として活用され、地域住民の足として重要な役割を果たしている。 また、復興事業の進展による大型車両の往来が多くなっていることから、小学生のスクールバスの利用が増加していることもあり、今後も運行継続の必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	30,642,000	30,532,890	530,000			30,002,890																															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																													
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																																																													
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																																																													
実施計画掲載ページ		P126	中 事 業	地域交通対策関係費																																																																
事業コード		006-004-001-00010	事 業 名	路線バス運行維持対策補助事業																																																																
目的及び事業内容		<p>高齢者、若者、子育て世帯など市民が日常生活において公共交通を選択できるよう市域一体となった利便性の高い公共交通網を構築し、安心して健やかに暮らせるまちづくりを目的とし、補助金を交付する。</p> <p>事業内容としては、ミヤコーバスが運行する合併前の旧町を跨ぐ6広域路線と合併前の石巻市内のみを運行する5市単独路線運行に対して補助を行っている。</p>																																																																		
取組実績		<p>路線バスの運行主体に対し、バス路線の維持及び安定した運行が図れるよう運行費の補助を実施した。また、河北線（三陸線）の二子団地への運行、一部路線の「石巻あゆみ野駅」、「いしのまき元気いちば」を起終点とする経路変更などの路線再編を平成30年10月より実施した。</p> <p>また、平成31年4月にICカードの利用が開始するための機器整備に補助を行った。</p> <p>平成30年度路線別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>運行経路</th> <th>補助の別</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻免許センター線</td> <td>石巻駅前～免許センター～日赤病院</td> <td>国庫</td> <td>437円</td> </tr> <tr> <td>女川線</td> <td>石巻駅前～渡波駅前～女川運動公園前</td> <td>国庫</td> <td>1,755,000円</td> </tr> <tr> <td>鮎川線</td> <td>石巻駅前～渡波駅前～鮎川港</td> <td>国庫</td> <td>11,592,428円</td> </tr> <tr> <td>石巻専修大学線</td> <td>石巻駅前～石巻専修大学～飯野川</td> <td>国庫</td> <td>4,771,159円</td> </tr> <tr> <td>河南線</td> <td>石巻駅～イオン石巻～河南総合支所</td> <td>国庫</td> <td>7,251,438円</td> </tr> <tr> <td>蛇田線</td> <td>石巻駅前～蛇田～イオン石巻</td> <td>自主運行</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>河北線（三陸線）</td> <td>石巻あゆみ野駅～日赤病院～飯野川</td> <td>国庫</td> <td>8,792,033円</td> </tr> <tr> <td>石巻専修大学線</td> <td>石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館</td> <td>市単独</td> <td>4,520,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻日赤線（日赤・渡波線）</td> <td>石巻駅前～清水町～日赤病院</td> <td>市単独</td> <td>1,123,000円</td> </tr> <tr> <td>山下門脇線（石巻市内線）</td> <td>石巻駅前～山下～石巻駅前</td> <td>市単独</td> <td>1,841,000円</td> </tr> <tr> <td>中里線</td> <td>石巻駅前～中里～石巻あゆみ野駅</td> <td>市単独</td> <td>6,177,000円</td> </tr> <tr> <td>渡波線（H30.10.1廃止）</td> <td>石巻駅前～鹿妻～渡波駅前</td> <td>市単独</td> <td>1,580,000円</td> </tr> <tr> <td>鹿妻線</td> <td>石巻駅前～鹿妻～イオン石巻東</td> <td>市単独</td> <td>16,601,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>66,004,495円</td> </tr> </tbody> </table> <p>路線バスICカードシステム導入事業補助金 20,000,000円</p>							路線名	運行経路	補助の別	補助金額	石巻免許センター線	石巻駅前～免許センター～日赤病院	国庫	437円	女川線	石巻駅前～渡波駅前～女川運動公園前	国庫	1,755,000円	鮎川線	石巻駅前～渡波駅前～鮎川港	国庫	11,592,428円	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～飯野川	国庫	4,771,159円	河南線	石巻駅～イオン石巻～河南総合支所	国庫	7,251,438円	蛇田線	石巻駅前～蛇田～イオン石巻	自主運行	0円	河北線（三陸線）	石巻あゆみ野駅～日赤病院～飯野川	国庫	8,792,033円	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館	市単独	4,520,000円	石巻日赤線（日赤・渡波線）	石巻駅前～清水町～日赤病院	市単独	1,123,000円	山下門脇線（石巻市内線）	石巻駅前～山下～石巻駅前	市単独	1,841,000円	中里線	石巻駅前～中里～石巻あゆみ野駅	市単独	6,177,000円	渡波線（H30.10.1廃止）	石巻駅前～鹿妻～渡波駅前	市単独	1,580,000円	鹿妻線	石巻駅前～鹿妻～イオン石巻東	市単独	16,601,000円	合計			66,004,495円
路線名	運行経路	補助の別	補助金額																																																																	
石巻免許センター線	石巻駅前～免許センター～日赤病院	国庫	437円																																																																	
女川線	石巻駅前～渡波駅前～女川運動公園前	国庫	1,755,000円																																																																	
鮎川線	石巻駅前～渡波駅前～鮎川港	国庫	11,592,428円																																																																	
石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～飯野川	国庫	4,771,159円																																																																	
河南線	石巻駅～イオン石巻～河南総合支所	国庫	7,251,438円																																																																	
蛇田線	石巻駅前～蛇田～イオン石巻	自主運行	0円																																																																	
河北線（三陸線）	石巻あゆみ野駅～日赤病院～飯野川	国庫	8,792,033円																																																																	
石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館	市単独	4,520,000円																																																																	
石巻日赤線（日赤・渡波線）	石巻駅前～清水町～日赤病院	市単独	1,123,000円																																																																	
山下門脇線（石巻市内線）	石巻駅前～山下～石巻駅前	市単独	1,841,000円																																																																	
中里線	石巻駅前～中里～石巻あゆみ野駅	市単独	6,177,000円																																																																	
渡波線（H30.10.1廃止）	石巻駅前～鹿妻～渡波駅前	市単独	1,580,000円																																																																	
鹿妻線	石巻駅前～鹿妻～イオン石巻東	市単独	16,601,000円																																																																	
合計			66,004,495円																																																																	
成 果		<p>乗車率が低下している路線が多く、利用者減少から運賃収入も減少し、補助金額が増大している。しかし、すべての路線は、日常生活における移動手段確保のために不可欠な路線であり、バス路線を維持していくことが必要である。そのため、路線バスの運行事業者に対して運行費補助を実施し、安定した路線バスの運行が確保されている。また、平成30年度は、石巻免許センター線、鮎川線、河南線、山下門脇線の利用が増加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線数</td> <td>10路線14系統</td> <td>11路線15系統</td> <td>13路線16系統</td> </tr> <tr> <td>うち国庫補助対象路線数</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> </tr> </tbody> </table>							年度	H28	H29	H30	路線数	10路線14系統	11路線15系統	13路線16系統	うち国庫補助対象路線数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																																
年度	H28	H29	H30																																																																	
路線数	10路線14系統	11路線15系統	13路線16系統																																																																	
うち国庫補助対象路線数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																																																	
成果に係る評価		<p>地域公共交通ネットワーク構築のためには、路線バスの役割は重要であり、日常生活面における交通手段確保のためにも路線維持が必要である。</p> <p>持続的にバス路線を維持、確保していくためには、広域路線や地域路線等の効率的運行や居住エリアの変化など復興事業の進展に対応した路線再編が必要不可欠であり、変化する交通需要に対応し乗車率の向上につながるよう総合交通戦略に基づき、交通事業者と協議しバス路線の再編を実施していく必要がある。</p> <p>今後、ICカードの導入によって、利用者の運賃払いの利便性向上だけでなく様々なデータを活用することにより、利用者のニーズを把握することができる。</p>																																																																		
予算の執行状況		<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>89,792,000</td> <td>86,004,495</td> <td></td> <td></td> <td>17,633,717</td> <td>68,370,778</td> </tr> </tbody> </table>							予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	89,792,000	86,004,495			17,633,717	68,370,778																																												
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																		
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																															
89,792,000	86,004,495			17,633,717	68,370,778																																																															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																			
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()																			
	10 目	男女共同参画推進費		(3)	男女共同参画社会を構築する		()																			
実施計画掲載ページ		P14	中 事 業	男女共同参画推進費																						
事業コード		001-002-003-00017	事 業 名	男女共同参画推進事業																						
目的及び事業内容		<p>男性も女性もすべての個人が社会の対等な構成員として、自らの意思によってあらゆる分野の活動に参画する機会が確保され、政治的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ共に責任を担う男女共同参画社会の実現を目指し、総合かつ計画的に推進するため、石巻市男女共同参画基本計画の進行管理及び女性人材育成事業や啓発事業を実施する。</p>																								
取組実績		<p>1 石巻市男女共同参画基本計画（第3次 平成29～32年度）の進捗管理 各課における男女共同参画推進事業の取組実績と成果を取りまとめ、男女共同参画推進審議会へ諮問した。</p> <p>2 石巻市男女共同参画基本計画（第3次）に基づいての男女共同参画推進事業の実施 (1) 市の審議会・委員会等への女性の参画促進 (2) 男女共同参画便り「ともに」発行 (3) 市職員・教員への意識啓発「イクボス研修」「性的マイノリティ講演会」 (4) 女性人材リストの整備、新規登録者の募集 (5) 男女共同参画の視点に立った意識の啓発 ア 男女共創セミナー「人間関係part.1上手な聴き方聴かれ方」 イ 出前講座「ハラメントとコミュニケーション」 ウ 市立桜坂高校における学年別性教育講話の実施 エ 性的マイノリティ講演会「LGBTは、いないのではなく、『見えていない』だけ」 オ 女性に対する暴力をなくす運動期間と成人式において、DV相談窓口PRカードを配布 (6) 女性の能力向上や就業支援 ア 女性起業家育成セミナー「Eyes for Future by ランコム」※NP0・企業と共催 イ 女性人材育成セミナー「自分らしく輝く、生きたい女性のための自分軸養成講座」 (7) 被災地におけるDV予防啓発講座（2回）※宮城県主催 (8) 「男女共同参画の視点による防災リーフレット」配布及び改訂版作成</p> <p>3 石巻市女性活躍推進会議設置（平成30年8月31日） 女性の職業生活における活躍の推進に関する取組を効果的かつ円滑に実施するために設置し、会議を2回開催。</p>																								
成 果		<p>庁内において審議会等の女性の登用促進を図り、女性人材リストの活用を呼びかけた。また、各種セミナーにおいて、女性人材リスト登録の呼び掛けを行い、登録者に対してはセミナーや委員募集などの情報提供を行うなど、登録者の活動の場が広がるよう啓発を行った。</p> <p>男女共同参画基本計画（第3次）においては、庁内の審議会等の女性委員割合目標値40%であるが、平成30年度実績は27.1%だった。女性人材リストの登録者は、新たに3名が登録となったが、リスト登録者の転出や高齢化などにより7名減となったことから、全体で昨年より4人減り142人となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標：審議会等の女性委員の割合</th> <th rowspan="2">女性人材リスト登録者数</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>40.0%</td> <td>26.3%</td> <td>145人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>40.0%</td> <td>26.5%</td> <td>146人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>40.0%</td> <td>27.1%</td> <td>142人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標：審議会等の女性委員の割合		女性人材リスト登録者数	目標値	実績等	H28	40.0%	26.3%	145人	H29	40.0%	26.5%	146人	H30	40.0%	27.1%	142人
区分	成果指標：審議会等の女性委員の割合		女性人材リスト登録者数																							
	目標値	実績等																								
H28	40.0%	26.3%	145人																							
H29	40.0%	26.5%	146人																							
H30	40.0%	27.1%	142人																							
成果に係る評価		<p>審議会や委員会等への女性の参画推進のために、担当各課への呼びかけを行っているものの、登用率は微増にとどまっているので、政策等に多様な視点からの意見が取り入れられるよう、事業を継続する必要がある。</p> <p>男女共同参画社会の実現のためには、他者理解と他者尊重の意識の醸成が必要なことから、啓発セミナー等は更に重点的に展開していく必要がある。</p> <p>なお、セミナー等の内容をより効果的にするために、女性活躍推進会議の委員を中心に、多様な層の意見などを取り入れ、現実に即したものとすることがある。</p>																								
予算の執行状況		<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,271,802</td> <td>934,576</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>934,576</td> </tr> </tbody> </table>							予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	1,271,802	934,576				934,576		
予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
1,271,802	934,576				934,576																					

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()	
	10 目	男女共同参画推進費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()	
実施計画掲載ページ		P 72	中 事 業	男女共同参画推進費				
事業コード		004-003-001-01127	事 業 名	子育てパパ育成事業				
目的及び事業内容		<p>本事業では、これまで育児参加の推進が進まなかった男性（父親）を対象として、体験を含めた講習会等を実施し、育児に対する男性の意識改革を図り、夫婦がともに仕事、家事、育児等を両立させる意識を醸成することで、女性の社会進出、女性の活躍促進にもつながることを目的とする。</p>						
取組実績		<p>男性の育児参加意識醸成のための「パパ講座」と、男性の育児を含むワークライフバランスの実現に向けた職場の上司の理解促進のための「イクボス研修」を開催した。</p> <p>1 パパ講座 (1) 「パパと一緒にふれあい体操」 参加：親子 2組 (2) 「パパと一緒に簡単クッキング」 参加：親子 4組 (3) 「パパの出産準備～備えあれば憂いなし～」参加：パートナーが妊娠中の男性 3人 (4) 「ママの気持ち パパの気持ち～オトコとオンナのすれ違いの思考」 参加：パートナーが妊娠中の夫婦 3組</p> <p>2 イクボス研修 「イクボス研修～業務見直しから効率的なマネジメントへ」 参加：市内事業所で複数人をまとめる立場の方 12名</p>						
成 果		<p>1 男性の育児参加意識醸成のためのパパ講座を、4回コースの講座として実施した。子育て世代にヒアリングを重ね、対象を親子・父親のみ・夫婦参加と、父親を取り巻く環境を視野に入れた講座とし、子育て参加の楽しさを実感しつつ夫婦間の意識ギャップを認識してもらえようとした。また、託児を利用した家族（母親）が、講師や託児スタッフ等へ子育てに関する相談をできる雰囲気だったこともあり、比較的包括的な子育て世帯支援に繋がった。</p> <p>2 イクボス研修は、小規模事業所において無理なく実行可能なスキルを盛り込んだ結果、参加者の全員が、研修の中にイクボスとして「部下と将来像を共有する」「若い方の意見をしっかりと聞く」等、すぐに取り入れようと思うポイントを見つけたとアンケートで回答した。また、参加した91%が、ワーク・ライフ・バランスに関する理解が深まったと答えており、ワーク・ライフ・バランス実現のためのイクボスの必要性理解が推進された。</p>						
成果に係る評価		<p>パパ講座における参加者アンケートなどから、子育てに対する意識向上の成果は確認できたと同時に、職場の理解が進まずに子育てに関わる時間が制約される事が読み取れた。参加者が非常に少なかったのは、開催時期（3月）に原因があったと推測される。</p> <p>子育て世代が子育てをしながらでも働きやすい職場づくりを推進するためのイクボス研修は、概念の説明に加え、具体的に使える技術の紹介を取り入れることで、参加者の満足度を上げることができたものの、小規模事業所に関しては研修に参加するための時間的制約が考えられることから、現実的に仕事に活用できるスキルを取得できるイクボス研修を重ねることで参加意欲を促し、市内全体の事業所意識の底上げを図っていけるよう、事業を継続する必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	626,198		408,698		143,000			265,698

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																	
	1 項	総務管理費		第 3 節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																	
	10 目	男女共同参画推進費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																	
実施計画掲載ページ		P 71	中 事 業	男女共同参画推進費																				
事業コード		004-003-001-01126	事 業 名	親になるための教育事業																				
目的及び事業内容		<p>中学生を対象に父親・母親の疑似体験をすることにより、妊産婦への思いやりを育み、命の大切さ、子供を産み育てることの意義を理解してもらおう。また、自分の将来像(結婚→妊娠→出産→育児)のイメージを浮かべながら、夫婦が共に育児に関わる必要性を啓発する。</p> <p>中学生の生徒に乳幼児との触れ合いを通じて、子を産み育てることの重要性を思春期において理解してもらい、中長期的な観点から、子育て世代を社会全体で支えるまちづくりを目指すものである。</p>																						
取組実績		<p>市内の実施希望中学校15校に対し実施し、合計854人の中学生が受講した。命の誕生から成長までの講義だけでなく、生徒一人ひとりが妊婦ジャケットの着用を行い、赤ちゃん人形を抱っこした。また、各校に乳幼児親子が参加し、中学生が乳幼児とふれあう時間を設けた。</p> <p>講座内容に性的マイノリティについても触れてもらい、性の多様性についての認識を深めてもらうよう努めた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>学校数</th> <th>生徒数(男/女)</th> <th>親子数(乳幼児数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>11校</td> <td>940人(478/462)</td> <td>104組(115人)</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>14校</td> <td>977人(504/473)</td> <td>109組(129人)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>15校</td> <td>854人(448/406)</td> <td>140組(158人)</td> </tr> </tbody> </table>								学校数	生徒数(男/女)	親子数(乳幼児数)	H28	11校	940人(478/462)	104組(115人)	H29	14校	977人(504/473)	109組(129人)	H30	15校	854人(448/406)	140組(158人)
	学校数	生徒数(男/女)	親子数(乳幼児数)																					
H28	11校	940人(478/462)	104組(115人)																					
H29	14校	977人(504/473)	109組(129人)																					
H30	15校	854人(448/406)	140組(158人)																					
成 果		<p>平成30年度は実施校が昨年度より1校増加した。</p> <p>妊婦体験や乳幼児とのふれあいが中学生にとっては新鮮で、アンケートを実施した結果、満足度は高く、「子育ての大変さが分かった」や「生命の大切さを感じた」などの感想が寄せられた。特に乳幼児とのふれあいの時間は、生徒たちにとって有意義な体験となっている。</p> <p>また、延140組(乳幼児158人)の多くの親子に参加していただいた。普段、中学生と関わる機会がないため親子ともに良い経験となったとの感想もいただいている。</p>																						
成果に係る評価		<p>生徒に対して行ったアンケートでは、家族への感謝や命の尊さを再確認する機会になったことや、妊婦等への配慮の心が養われたことが見て取れ、高い評価が得られた。乳幼児とのふれあい体験は、生徒たちにとって貴重な体験になったと同時に、先生方が生徒たちの新たな一面に触れる機会にもなった。全ての学校から、次年度の継続的な開催に対する要望をいただいた。</p> <p>さらには、協力親子たちからは、社会貢献のきっかけになった等の声も聞くことができた。</p> <p>多感な時期の中学生に、多様な性を含め、性に対する正しい知識の習得はその後のDVの防止や子育てに対する意識の醸成などにも波及すると考えられ、今後も継続していく必要がある。</p>																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	1,700,000		1,680,000		840,000			840,000																

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	11 目	国際交流費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 36	中 事 業	国際交流推進費				
事業コード	002-003-001-00585	事 業 名	チビタベッキア市との姉妹都市交流事業					
目的及び事業内容	<p>姉妹都市として両国並びに両市への理解と友好を深め、両市を繋いだ支倉常長を始めとする先人たちの偉業と両市の歴史を後世に継承すると共に、両市の将来を担う可能性豊かな子どもたちに異文化を経験する機会を与え、国際感覚豊かな人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>上記目的達成のため、新石巻市として平成25年7月8日に締結したチビタベッキア市との盟約書及び交流事業覚書に基づき、本市の高校生がチビタベッキア市を訪問し異文化体験及び交流を行う。</p>							
取組実績	<p>【青少年海外派遣研修事業】</p> <p>1 日程 平成31年3月23日～30日(6泊8日)</p> <p>2 イタリア共和国 チビタベッキア、ローマ</p> <p>3 参加者 市内在住高校生7名</p> <p>4 事業内容</p> <p>チビタベッキアの高校生を中心とする市民との交流</p> <p>(1)各高等学校並びに専門学校への訪問(両市学生間交流)</p> <p>ア 石巻市高校生並びにチビタベッキア高校生によるプレゼンテーション</p> <p>イ イタリア語・日本語交流授業</p> <p>ウ 各学校・施設見学、授業体験</p> <p>エ ホテル専門学生が調理したイタリアンランチ</p> <p>オ 日本の遊び交流(トントン相撲・2人羽織)</p> <p>(2)チビタベッキア市庁舎、各高等学校・専門学校にて本市高校生によるプレゼンテーション</p> <p>ア 市の紹介</p> <p>イ 市の特産品や日本の食べ物について</p> <p>ウ 日本の高校生の生活について</p> <p>(3)チビタベッキア市内並びに施設の視察(友好協会主催)</p> <p>(4)日本文化・日本語講座同好会との交流</p> <p>(5)在イタリア日本大使館訪問(大使館の役割及び業務について講話聴講等)</p>							
成 果	<p>○言語や文化、生活様式等、全てが違う異国の地での様々な交流プログラムや体験を通じ、チビタベッキア市そしてイタリアの文化や習慣を学び、国際感覚を豊かにすることができた。</p> <p>○本市高校生によるプレゼンテーションにより、多くのチビタベッキア市民に本市についての理解を深めてもらうことができた。</p> <p>○先人達の偉業そしてチビタベッキア市と本市の繋がりを深く学ぶことができた。</p>							
成果に係る評価	<p>双方の高校生やその保護者のみならず、たくさんの市民の協力があったので交流事業となったことから、相互理解とこれまでの両市の繋がりを更に深めることができた。</p> <p>また、異国の地での様々な経験を通じ、国際感覚を養う一助となったとともに、これまで両市民が築いてきた絆をより深めることができた大変有意義な事業であり、次年度以降も交流事業の継続が必要である。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	6,734,865	6,734,865						6,734,865

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	11 目	国際交流費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 35	小 事 業	国際交流推進費				
事業コード	002-003-001-00018	事 業 名	温州市との友好都市交流事業					
目的及び事業内容	<p>文化・スポーツ等の様々な交流事業を通して、両市の友好関係を促進し、相互に親睦を深める。</p> <p>また、両市の発展のため産業・経済の交流を進めて、地域の活性化を図るとともに、国際性豊かな人材も育てていくことを目指す。</p> <p>事業内容として、相互の国への訪問を行い、交流の絆を深めた。</p>							
取組実績	<p>平成30年度においては、「2017年から2024年までにおける両市の友好交流計画に関する議定書」に基づき、以下の事業を実施した。</p> <p>1 友好姉妹都市交流事業に係るマラソン選手受入事業</p> <p>(1)招待選手2名(第4回いしのみまき復興マラソン参加)、平成30年6月21日から24日の間(3泊4日)</p> <p>(2)市内視察(サンファン館、石巻復興まちづくり情報交流館、元氣市場)</p> <p>2 友好姉妹都市交流事業に係る35周年記念事業の事前協議</p> <p>(1)浙江省温州市へ派遣職員3名、平成30年10月15日から18日の間(3泊4日)</p> <p>(2)協議内容：相互の訪問をはじめとして、各事業を展開していくことで合意した。</p>							
成 果	<p>マラソン選手受入では、ハーフマラソンの部で招待選手2名が男性15位、女性が4位の好成績を収め、また、交流会では、日中相互の親睦を深め合い交流が図られた。</p> <p>35周年記念事業の事前協議では、相互の訪問をはじめとして、各事業を展開していくことで合意した。</p>							
成果に係る評価	<p>前年度に引き続き、復興マラソン参加選手の受入を行い、相互の友好親善につなげることができた。</p> <p>また、35周年記念事業の事前協議を実施することによって、今後の事業継続に向け、相互に認識の確認や理解をすることができた。</p> <p>今後も、長い年月をもって築いた交流の絆を絶やすことなく、継続した交流が必要である。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,021,716	2,021,716						2,021,716

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画																																												
	1 項	総務管理費		第3節	市民満足度の高い行政サービスを提供する																																													
	11 目	国際交流費		(2)	行政サービスの質の向上を図る																																													
実施計画掲載ページ		P15	中 事業	国際交流推進費																																														
事業コード	001-003-002-01243	事業名	外国人相談窓口開設事業																																															
目的及び事業内容	本市で暮らす外国人が市民と共生しながら安心して生活ができるように、様々な助言を行うことを目的とする。事業内容としては、市内在住の外国人住民を対象に、相談窓口を開設し、市役所での各種手続き（税金・年金・在留・子育て支援・医療助成・印鑑証明・証明書の翻訳等）のサポート、日本語支援教室、じゃばNeeds塾等の案内、専門相談機関の紹介等を行うほか、中国語、韓国語、英語、タガログ語、ベトナム語の5か国に対応する外国人相談員を各言語、曜日を決めて配置している。																																																	
取組実績	1 【開設状況】 (1) 月曜日：英語・タガログ語（フィリピン人通訳） (2) 火曜日：中国語（中国人通訳） (3) 水曜日：韓国語（韓国人通訳） (4) 木曜日：ベトナム語（ベトナム人通訳） 2 【開設場所】 (1) 復興政策部地域振興課内（市役所4階） 3 【内容】 (1) 行政手続き（ビザ・マイナンバーカードの発行、国民健康保険・転入手続きなど） (2) 生活に係る悩み相談（家庭内や職場内での悩みなどを含む） (3) その他相談 4 【市内在住外国人の状況】																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>611人</td> <td>756人</td> <td>843人</td> <td>1,012人</td> <td>1,044人</td> <td>1,242人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	人数	611人	756人	843人	1,012人	1,044人	1,242人																												
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																												
人数	611人	756人	843人	1,012人	1,044人	1,242人																																												
成 果	ベトナム人の水産加工業技能実習生の増加に伴い、平成30年度より、ベトナム語を追加した5言語での対応を行った。相談者の立場にたつて親身な相談業務を行い、本市に暮らす外国人が日常生活を営む中で直面する各種手続き（教育、福祉、税金など）、市政情報の提供、専門相談機関の紹介、話し相手等、生活に密着した様々な問題に対応した。その結果、外国人が抱える生活不安の軽減が図られるとともに、外国人にとってより暮らしやすいまちづくりに寄与することができた。																																																	
	外国人相談件数																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>46件</td> <td>36件</td> <td>39件</td> <td>36件</td> <td>48件</td> <td>49件</td> </tr> </tbody> </table>								年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	件数	46件	36件	39件	36件	48件	49件																												
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																												
件数	46件	36件	39件	36件	48件	49件																																												
成果に係る評価	地域別内訳																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東アジア</td> <td>31件</td> <td>29件</td> <td>33件</td> <td>26件</td> <td>31件</td> <td>36件</td> </tr> <tr> <td>東南アジア</td> <td>15件</td> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>8件</td> <td>6件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>オセアニア・北米・中南米</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>9件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>西・南アジア・アフリカ</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>ヨーロッパ</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>								年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	東アジア	31件	29件	33件	26件	31件	36件	東南アジア	15件	6件	5件	8件	6件	10件	オセアニア・北米・中南米	0件	1件	1件	2件	9件	3件	西・南アジア・アフリカ	0件	0件	0件	0件	0件	0件	ヨーロッパ	0件	0件	0件	0件	2件	0件
	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																											
東アジア	31件	29件	33件	26件	31件	36件																																												
東南アジア	15件	6件	5件	8件	6件	10件																																												
オセアニア・北米・中南米	0件	1件	1件	2件	9件	3件																																												
西・南アジア・アフリカ	0件	0件	0件	0件	0件	0件																																												
ヨーロッパ	0件	0件	0件	0件	2件	0件																																												
前年度課題であった外国人相談窓口の周知に関して、平成30年度より、ポスターの掲示や窓口紹介カードの配布等を行ったことにより、外国人住民への周知が図られた。今後、仕事を持つ外国人も多いことから、週末に開催しているじゃばNeeds塾や楽しい日本語教室に相談員の派遣を積極的に行い、更なる支援体制をとる必要がある。																																																		
（単位：円）																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
	893,000	716,332	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	716,332																																											

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																								
	1 項	総務管理費		第3節	市民満足度の高い行政サービスを提供する		()																								
	11 目	国際交流費		(2)	行政サービスの質の向上を図る		()																								
実施計画掲載ページ		P15	中 事業	国際交流推進費																											
事業コード	001-003-002-01244	事業名	日本語教室等開設事業																												
目的及び事業内容	【目的】 本市に住む外国人住民同士、そして日本人住民との交流促進と相互理解を深める。外国人住民が本市で生活する上で必要な日本語、そして日本文化や風習等を学ぶ機会を提供し、暮らしやすい多文化共生社会の推進を図る。 【事業内容】 じゃばNeeds塾（多文化共生社会推進事業）の開催。 外国人のために日本語の学習支援として日本語教室を開催する団体へ補助金を交付。																														
取組実績	1 じゃばNeeds塾（多文化共生社会推進事業）（全6回） 日本語教室受講生、日本人配偶者、留学生などの外国人と日本人住民が一同に介して、大学での交流会、料理教室、着物着付けや茶道体験、ヨガ等を実施した。 参加者の国籍：ベトナム、インドネシア、ミャンマー、日本、アイルランド、フィリピン、中国、台湾、韓国、アメリカ、カナダ、タイ、ウクライナ（13カ国） 第1回 33人 多文化フェスタ【石巻専修大学 2018/6/3】 第2回 26人 外国料理（中国）教室 ランチ交流会【みなと荘 2018/12/1】 第3回 32人 着物の着付け教室【みなと荘 2019/1/20】 第4回 24人 外国人茶道体験交流会【森芳春荘 2019/2/3】 第5回 35人 笑いヨガ&地場産食材を使った調理実習【みなと荘 2019/2/24】 第6回 40人 多文化交流会【みなと荘 2019/3/3】 計 190人 2 外国人のための日本語教室開催等（補助金交付） (1)日本語支援教室（石巻在住一般外国人）【石巻中央公民館/日和が丘1-2-7】																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学習者数</th> <th>出身国数</th> <th>開講回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>34人</td> <td>14カ国</td> <td>40回</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>30人</td> <td>9カ国</td> <td>39回</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>42人</td> <td>15カ国</td> <td>37回</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学習者数</th> <th>出身国</th> <th>開講回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>38人</td> <td>3カ国</td> <td>23回</td> </tr> </tbody> </table> ※研修会・交流会の開催：「消防施設見学と防災研修会」、日本語ボランティア ビギナー研修会 お花見交流会、いも煮会交流会、ワールドクリスマスパーティー									学習者数	出身国数	開講回数	H28	34人	14カ国	40回	H29	30人	9カ国	39回	H30	42人	15カ国	37回		学習者数	出身国	開講回数	H30	38人	3カ国
	学習者数	出身国数	開講回数																												
H28	34人	14カ国	40回																												
H29	30人	9カ国	39回																												
H30	42人	15カ国	37回																												
	学習者数	出身国	開講回数																												
H30	38人	3カ国	23回																												
成 果	今年度においては、じゃばNeeds塾（多文化共生社会推進事業）全6回、石巻在住一般外国人向け日本語支援教室37回、ベトナム人等の技能実習生向け日本語支援教室23回を実施し、外国人住民同士そして日本人住民との交流促進が図られたとともに、外国人住民が日本語、日本文化、風習等に理解を深めることができた。																														
成果に係る評価	外国人住民と日本人住民の交流促進と相互理解のため、また、暮らしやすい多文化共生社会の推進のため「じゃばNeeds塾」並びに「日本語教室」（補助金交付）を開催したことにより、多くの外国人が日本語や日本文化を学ぶことができ、国籍や民族などに捕らわれず互いの文化的・言語的差異に理解を深め、交流の促進が図られたことから、次年度以降も本事業の継続が必要である。																														
（単位：円）																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
	735,722	735,722	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	735,722																								

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第6節	日常の身近な安全性を高める		()	
	14 目	交通安全対策費		(1)	交通事故の発生を防止する		()	
実施計画掲載ページ		P 97	中 事 業		交通安全対策費			
事業コード		004-006-001-00002	事 業 名		交通安全推進事業			
目的及び事業内容		各世代や歩行者・運転者へ交通安全意識の高揚を図り、交通安全運転の励行や飲酒運転の根絶を目指し、交通事故の撲滅を図る。 広く市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるために、各種行事等の開催や、周知活動、広報活動を行うことにより交通事故防止に寄与する。 交通安全対策車両の計画的な買い替えにより、交通安全指導隊によるパトロール活動や広報活動を円滑に行えるようにする。						
取組実績	各種交通安全運動として下記の事業を実施した。							
	月 日	事 業 名			事 業 内 容			
	4 月上旬	新入生児童に対する交通事故防止			ランドセルカバー、黄色い帽子的配布			
	6~15	春の交通安全運動			交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導			
	7 21~8/20	夏の交通安全防止運動			市報掲載による広報			
	9 21~30	秋の交通安全運動			交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導			
	10 1~1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動			市報掲載による広報			
	11 9	石巻市交通安全大会			交通安全と飲酒運転根絶に向けた市民への意識啓発活動			
	19	第49回宮城県交通安全県民大会			県民総参加による交通安全運動の推進 交通事故のない安全で快適な社会実現			
	12 1~2/28	冬の安全運転1・2・3運動			市報掲載による広報			
	12 1~31	年末の交通事故防止運動			交通指導員等による街頭指導			
	飲酒運転根絶活動として下記の事業を実施した。							
	月 日	事 業 名			事 業 内 容			
	4 6~15	春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動			市報・市ホームページ掲載による広報			
	5 22	第12回宮城県飲酒運転根絶県民大会			飲酒運転根絶の意識を高める大会			
9 21~30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動			市報・市ホームページ掲載による広報				
11 27~30	飲酒運転根絶啓発チラシの作成配布			全戸配布による周知活動				
12 4~31	飲酒運転根絶広報			市役所2階電子掲示板による広報				
21	年末の飲酒運転根絶キャンペーン			市内2店舗で啓発活動				
2 22	飲酒運転根絶広報			新聞掲載				
3 22	飲酒運転根絶広報			新聞掲載				
交通安全対策車両1台を買い替えた。(北上総合支所地域振興課配備車両)								
成 果		春季及び秋季の交通安全運動のほか、石巻市交通安全都市推進協議会等の関係機関・団体との連携により、交通事故防止を推進し、飲酒運転根絶に向け市民に対し交通安全意識の高揚が図られた。また、交通安全大会のほか、各種広報活動により安全安心な交通社会への実現に寄与した。						
成果に係る評価		交通安全指導員による街頭指導40回、学校等での交通安全教室57回を開催し、交通安全意識の高揚を図ることができた。 交通事故は年々減少傾向にあるが、前年は若干増加した。高齢者の交通事故は昨年、一昨年と増加傾向にある。また、飲酒運転根絶に向けた活動を実施しているが、根絶には至っておらず、飲酒運転根絶及び交通事故防止の達成に向け、啓発活動を重点に事業を推進していく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	5,279,068	5,263,520	500,000			4,763,520		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 節			()	
	16 目	情報プラザ運営費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業		情報プラザ関係費			
事業コード			事 業 名		情報プラザ運営事業			
目的及び事業内容		市民のコンピュータリテラシーの習得を推進・支援し、市民生活の利便性を向上させ、魅力的な地域社会の貢献に寄与する。						
取組実績	1 パソコン初心者施設利用者に対して助言等を行い、一般利用者(市民)が利用しやすい環境整備を行った。 2 放送大学宮城学習センター石巻視聴覚学習室(再視聴施設)を設置することにより、学びたい人にいつでも学べる環境を提供した。							
	成 果		市民が身近にパソコンと触れ合う場として施設を提供することにより、魅力的な地域社会に貢献し、市民のICT環境の整備が図られた。					
成 果		主な情報プラザ利用状況						
		区分		H28	H29	H30		
		PCセミナー等利用者		1,901人	652人	207人		
		うち 情報プラザ主催事業		1,597人	333人	-		
		うち その他主催事業		304人	319人	207人		
		インターネットサービスプロバイダー利用者		181人	156人	-		
		うち 一般利用		99人	74人	-		
		うち 公用等		82人	82人	-		
		ネットデッキ利用者(インターネット)		634人	397人	0人		
		放送大学利用者		4人	7人	0人		
		※インターネットサービスプロバイダー事業は平成29年度末に廃止。ネットデッキは、機器が老朽化したため利用中止とし、ワークキャビンを供用(無料)した。						
成果に係る評価		近年の急速な情報通信技術の発展により、インターネット接続環境の拡充・拡大やパソコン等の情報機器が普及したことから、情報プラザの利用者は減少及び固定化した状況にあり、施設としての一定の役割を果たしたものと考えられることから、本施設を平成31年3月末に廃止した。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	11,230,000	9,668,628				9,668,628		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第3節	市民満足度の高い行政サービスを提供する		()	
	17 目	蛇田支所等複合施設建設事業費		(2)	行政サービスの質の向上を図る		()	
実施計画掲載ページ		P16	中 事業	蛇田支所等複合施設建設事業費				
事業コード		001-003-002-01104	事業名	蛇田支所等複合施設整備事業				
目的及び事業内容		現在の蛇田支所と蛇田公民館は、狭あいでの老朽化が進み、駐車場が不足している現状である。また、蛇田地区は人口が急増しており、将来を見据えた新たな公共サービスの拠点が必要となっており、蛇田支所と蛇田公民館からなる複合施設として整備するもの。						
取組実績		<p>地域住民や公民館利用者に対して、建設工事に係る説明会を開催し、建設工事に着手した。</p> <p>建設工事に係る説明会開催状況 平成30年8月10日 蛇田地区行政委員及び町内会長 12名 一般住民 19名</p> <p>概要 敷地面積 5,679.67㎡ 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 1,993.61㎡ (支所 338.49㎡、公民館 655.88㎡)</p>						
成果		<p>蛇田支所等複合施設整備事業の進捗が図られた。</p> <p>なお、主な年次計画は次のとおりである。</p> <p>主な年次計画 平成28年度 基本計画 平成29年度 基本設計・実施設計 平成30年度 建設工事 令和元年度 建設工事・供用開始</p>						
成果に係る評価		令和2年1月の供用開始に向け、建設工事を着実に進捗させる必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	64,602,906		64,602,906			61,300,000		3,302,906

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																
	1 項	総務管理費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																																
	27 目	諸費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()																																
実施計画掲載ページ		P36	中 事業	非核平和都市推進費																																			
事業コード		002-003-001-00022	事業名	非核平和推進人材育成事業																																			
目的及び事業内容		市の将来を担う中学生を対象に、核兵器が人類に及ぼした悲惨な現実と平和の尊さを学ぶため、広島市が主催する平和記念式典等に参列する中学生派遣事業及び市内中学校において原爆被爆者を講師とした被爆者体験講話を実施し、恒久平和に貢献する人材の育成を図る。																																					
取組実績		<p>「非核平和推進人材育成事業」として、以下のとおり事業を実施した。</p> <p>1 平和記念式典等への中学生派遣事業 日 時：平成30年8月5日(日)～7日(火) 研 修 先：広島市 対 象 者：湊、荻浜、渡波、稲井、万石浦、飯野川、河北、雄勝、桃生、北上、牡鹿の各中学校から1名(計11名) 研修内容：平和記念式典への参列、被爆体験者講話の聴講、平和記念資料館の見学 等</p> <p>2 被爆体験者講話 日 時：平成30年11月6日(火) 午後1時20分～午後3時00分 会 場：青葉中学校 多目的ホール 対 象 者：青葉中学校 2学年生徒91名 講 師：元平和記念資料館長、現(公財)広島平和文化センター被爆体験証言者 原田浩 氏 テ ー マ：「ヒロシマの願いを世界へ～被爆の現状から核廃絶へ～」</p>																																					
成果		<p>市の将来を担う中学生が、広島市主催の平和記念式典への参列や被爆体験者による講話の聴講を通して、平和の尊さや戦争の悲惨さを学ぶことにより、自身が平和活動を行うことの重要性を自覚し、文化発表表等で家族や友人、市民へ広く非核平和について啓発を行うなど、恒久平和に貢献できる人材の育成が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th colspan="3">平和記念式典等への中学生派遣事業</th> <th colspan="2">被爆体験者講話</th> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標：研修参加人数</th> <th rowspan="2">達成率等</th> <th rowspan="2">講話参加人数</th> <th rowspan="2">実施校</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>6 人</td> <td>6 人</td> <td>100 %</td> <td>141 人</td> <td>門脇中学校 1、2年生</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>8 人</td> <td>8 人</td> <td>100 %</td> <td>317 人</td> <td>渡波中学校 全学年</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>11 人</td> <td>11 人</td> <td>100 %</td> <td>91 人</td> <td>青葉中学校 2年生</td> </tr> </tbody> </table>							区分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話		成果指標：研修参加人数		達成率等	講話参加人数	実施校	目標値	実績値	H28	6 人	6 人	100 %	141 人	門脇中学校 1、2年生	H29	8 人	8 人	100 %	317 人	渡波中学校 全学年	H30	11 人	11 人	100 %	91 人	青葉中学校 2年生
区分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話																																			
	成果指標：研修参加人数		達成率等	講話参加人数	実施校																																		
	目標値	実績値																																					
H28	6 人	6 人	100 %	141 人	門脇中学校 1、2年生																																		
H29	8 人	8 人	100 %	317 人	渡波中学校 全学年																																		
H30	11 人	11 人	100 %	91 人	青葉中学校 2年生																																		
成果に係る評価		<p>参加した中学生は、平和記念式典への参列や平和記念資料館の見学を通して、改めて平和の尊さを学び、研修後には自校の文化祭等で、研修内容や自らが実際に目を見て感じた戦争の悲惨さ、平和に対する思いなどを発表し、家族や友人のみならず広く市民に対して啓発活動を行った。このことによる恒久平和への貢献は大きいと考える。また、被爆体験者による講話は、戦争の真の恐ろしさ、そして二度と戦争を起すことはならないという平和への心からの思いに触れることのできる貴重な機会となっており、私生活であまり意識しない戦争や平和を自身に関係のあることとして認識し直すきっかけとなっている。</p> <p>今後も非核平和の啓発や恒久平和に貢献できる人材の育成及び戦争の悲惨さを後世へと伝え続けるためにも、本事業を継続して実施していく必要がある。</p>																																					
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																		
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	2,268,000		2,145,666					2,145,666																															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(3)	減災まちづくりの推進
	28 目	東日本大震災関係費				(3)	新エネルギー等の活用
実施計画掲載ページ	P168		中 事 業	スマートコミュニティ推進事業費			
事業コード	001-303-001-00946	事 業 名	スマートコミュニティ推進事業				
目的及び事業内容	<p>震災復興基本計画重点プロジェクトの1つとして「災害に強く環境にやさしいまちづくり」の実現を図るため、再生可能エネルギーやICTを活用し有事の際に避難所となる公共施設に導入された太陽光発電設備、蓄電池をエネルギー管理システムで総合管理し、地域のエネルギー情報を見える化するとともに、次代を担う子どもたちへの環境意識の醸成を図る。</p>						
取組実績	<p>1 環境負荷軽減及び防災機能強化の取り組み (1) 平時は環境にやさしい移動手段として、有事では移動可能な非常用電源の供給といった防災機能強化を図るため、みやぎ環境交付金を活用し公用電気自動車を導入（社庫総合支所へ配備） 2 スクールデマンドレスポンス（スクールDR）の取り組み (1) 平成30年度は、これまでスクールDRに参加していた30校から前年度まで得られたデータの分析をもとに、小・中・高等学校合わせて計11校をモデル校とし、期別ごとに実施機関を1週間程度に延長して実施 ア スクールDR参加校 小学校の部 飯野川小学校、山下小学校、向陽小学校、桃生小学校、稲井小学校 中学校の部 湊中学校、社庫中学校、万石浦中学校、北上中学校、河南西中学校 高等学校の部 桜坂高等学校 イ 実施時期 ⇒ 平成31年2月 ウ 実施期間 ⇒ 連続した5日間 (2) 環境整備した30校のうち、スクールDR参加校以外の学校は、省エネ行動の取り組みを各校に任せる事で各校の自主的な「環境教育」に活かすことを目指したスクールDRの取り組みに変更 (3) 収集した情報の分析結果をもとに、再生可能エネルギーの有効活用の実証運用を検討</p>						
成 果	<p>1 平成30年度においては、スクールDRの運用を見直して得られたエネルギー情報とこれまでに得ていた情報を基にした分析に地域性及び時期的な要素を加え見える化を行い、節電行動に対するより詳細な分析結果を共有することができ、児童・生徒の環境意識の醸成が図られ、節電行動の工夫に繋げることができた。 2 エネルギー情報の分析に継続して取組み、再生可能エネルギーの有効活用と有事における避難所運営の双方が満たされる最適な運用手法の検討を共同事業者とともにを行い、将来の実証運用を踏まえた環境整備が図られた。 3 平成30年度では、昨年同様、みやぎ環境交付金を活用し社庫総合支所に電気自動車（公用車）を配備し、環境負荷軽減と有事における移動可能な非常用電源の供給を可能とする等地域内における防災機能の強化が図られた。</p>						
成果に係る評価	<p>整備した環境を活用したスクールDRの取り組みでは、再生可能エネルギーの発電状況や蓄電池の状況等が把握でき、震災直後に経験した教訓と普段使用している電力の状況等が見える化されたことによる環境意識の醸成が確実に浸透してきている。 また、環境整備した学校では災害時避難所として開設され災害の発生時期や時間によってさまざまな対応を強いられ、再生可能エネルギーの有効活用を図った安心・安全な避難所運営に繋げるためには、今後更なる情報の積み上げと分析が重要であり、各地域への公用電気自動車の配備に至っては、環境負荷軽減の取り組み以外にも電気自動車の蓄電池を活用した広範囲に及び防災機能強化を図るためには重要な事業であるため、事業を継続する必要がある。</p>						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	7,787,000	6,585,307	2,835,935			3,749,372	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(2)	地域のかでみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P147		中 事 業	地域自治システム関係費			
事業コード	001-201-005-00310	事 業 名	地域自治システム構築支援事業〔復興基金〕				
目的及び事業内容	<p>平成22年、地域の特徴を生かした地域住民自身の意思に基づくまちづくりや住民自治の確立を目指し、市民と行政が協働のまちづくりをつくるため地域自治システムの構築を進めていた。 震災後、地域コミュニティが崩壊した中で、地域自治システムを進めるには難しい地域もあるが、地域の実情を考慮しながら、市内16エリアすべての地区の地域自治組織設立に向け、支援を行うもの。</p>						
取組実績	<p>地域の創意と工夫、判断と責任を尊重し、市民と行政の協働による魅力あるまちづくりを推進するとともに、住民自治組織の円滑な運営と個性あふれる地域づくりを支援するため、石巻市住民自治組織交付金を交付した。 また、地域自治システム構築の推進にあたっては、住民はもとより行政も協働への理解を深める必要があるため職員研修を実施した。 なお、平成30年度より、地域自治システムアドバイザー（2名）を配置し、ロードマップや作業手順等を作成した。併せて、地域自治システムサポート事業により、新たな地区への地域自治システム構築を図った。 【事業内容】 1 住民自治組織交付金 河南地区 河南地域住民自治協議会 交付額：2,355,000円 山下地区 山下地区協働のまちづくり協議会 交付額：945,788円 桃生地区 ものう夢ネットワーク 交付額：1,109,189円（計4,409,977円） 2 地域自治システム職員研修会 一平成30年度地域自治システム「協働のまちづくり」職員研修会 実施日：平成31年3月7日（木） 研修講師：地域自治システムアドバイザー 大滝 聡 氏 研修内容：主幹以下の若手職員を対象とし、資料をもとにした講話及びワークショップ 演題 「これからの地域づくりに必要なこと」 参加人数：44人 3 地域自治システムサポート事業 委託団体：一般社団法人ヒガシミノ団地 事業内容：住吉地区の住民自治組織設立に向けた住民アンケートを実施（住吉町・大橋地区） 4 地域自治システム・アドバイザー（2名：渡辺 斉氏・大滝 聡氏）</p>						
成 果	<p>河南・山下・桃生の3地区において、独自の事業活動を展開することで地域課題に向けた取組みが推進された。また、地区毎に発行する会報によって活動内容を周知することで、地域住民の参画が図られた。 主幹以下の若手職員を対象に職員研修をし、地域自治システムアドバイザー大滝氏によるグループインタビューゲーム等のワークショップを交えた講義を実施した。参加者からは非常に有益との回答が多かったことから、今後も継続的に啓発していきたい。 地域自治システムアドバイザーを配置できたことで、既存3地区の検証をしたほか、3年後を見据えたロードマップや作業手順を作成し、市内全域への地域自治システム構築を推進する体制が整えられた。地域自治システムサポート事業により、新たな地区での取組に着手できた。</p>						
成果に係る評価	<p>既存組織の検証を行うことで、課題や改善点が把握することができたことから、市内全域への地域自治システム構築に向けた気付きが得られた。 また、職員研修を通じ、地域自治システム構築・推進に向け、市職員の意識改革や機運醸成がまだまだ必要であることが再認識された。 地域自治システムアドバイザーの配置により、適格な助言が得られ、効率的な事業の推進が図られた。 なかでも、平成30年度重点着手地区の北上地区や住吉地区、稲井地区において、住民自治組織設立に向けた流れができており、次年度に繋がる成果が得られた。</p>						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	12,704,000	7,818,870	1,690,420			6,128,450	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の方でみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P146		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費			
事業コード	001-201-003-00305	事業名	コミュニティ形成支援補助事業〔復興基金〕				
目的及び事業内容	<p>1 コミュニティ形成支援補助事業（一般分） 震災の影響で住民自治組織（町内会等）による祭りなどのイベント開催が自粛され、住民同士の交流の場が少なくなっていることから、住民主体で開催する交流事業などに補助を行い、住民自治組織の活動やコミュニティの形成促進を図るもの。</p> <p>2 復興公営住宅コミュニティ促進事業 復興公営住宅が区域内に建設された住民自治組織が、復興公営住宅入居者との交流を図り、地域コミュニティ形成のきっかけづくりとするもの。</p>						
取組実績	<p>住民自治組織が主体となり実施した交流イベント等への助成を行った。 事業周知については、市報や市のホームページへの掲載、住民自治組織が集まる会議等でのチラシ配布と概要の説明を行った。</p> <p>1 コミュニティ形成支援補助事業（一般分） (1) 対象事業 住民主体による地域づくりやコミュニケーションづくりを推進するための事業 (2) 申請上限 1団体につき年1回までとし、上限10万円 (3) 主な補助金交付事業内容 夏まつり、レクリエーション大会、清掃活動、芋煮会、敬老行事、親睦旅行、世代間交流事業、複数の町内会での合同の交流事業など</p> <p>2 復興公営住宅コミュニティ促進事業 (1) 対象事業 復興公営住宅入居者及び地域内住民のコミュニケーションづくりを推進するために実施する事業 (2) 申請上限 1復興公営住宅につき1回限りまでとし、上限10万円 (3) 主な補助金交付事業内容 バーベキュー交流会及びお茶のみ会など</p>						
成 果	<p>コミュニティ形成支援補助事業（一般分）においては、様々なイベントが開催され、住民同士の交流の機会となり、コミュニティの育成促進が図られた。 復興公営住宅コミュニティ促進事業においては、住民自治組織が開催した交流会を通じて、復興公営住宅入居者と周辺住民のコミュニティの育成促進が図られた。</p>						
	コミュニティ形成支援補助事業分（一般分）		復興公営住宅コミュニティ促進事業分				
	地区名	補助金交付件数 (単位：件)	H30 補助金交付額		地区名	補助金交付件数 (単位：件)	H30 補助金交付額
		H28 H29 H30				H28 H29 H30	
	石巻	105 95 102	9,827,049円		石巻	5 4 1	100,000円
	河北	14 14 17	1,656,931円		計	5 4 1	100,000円
	雄勝	5 6 4	313,740円				
	河南	29 32 31	2,951,398円				
	桃生	8 10 7	421,466円				
	北上	2 3 3	209,512円				
	牡鹿	4 4 4	285,784円				
	計	167 164 168	15,665,880円				
成果に係る評価	<p>コミュニティ形成支援補助事業（一般分）については、交付実績が横ばいとなっており、これ以上の大幅な増加は見込めないため、本事業開始当初の目的は果たされたと思われる。しかし、各住民自治組織からは本事業継続の要望があり、また本事業の終了により住民自治組織の活動低下が懸念されることから、当面は継続してゆく見込みである。</p> <p>復興公営住宅コミュニティ促進事業においては、住民自治組織が交流会を開催し、復興公営住宅入居者と地域内住民との交流の場を提供する一助となった。一方、補助金額が高い県の地域コミュニティ再生支援事業補助金の認知が広がったことにより、県の補助事業の採択が伸び、本補助金交付件数が停滞したと思われる。まだ本補助金を活用していない住民自治組織への聞き取りを行い、補助金の再周知と交流状況の把握を行ってきたい。</p>						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	22,000,000	15,765,880	100,000		15,665,880		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																																																																				
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の方でみんなで守る																																																																				
	28 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援																																																																				
実施計画掲載ページ	P147		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費																																																																							
事業コード	001-201-003-00306	事業名	集会所等コミュニティ施設復旧整備事業〔復興交付金〕〔復興基金〕																																																																								
目的及び事業内容	<p>【目的】 市民と行政の協働のまちづくりを図る。 【内容】 東日本大震災により被災した集会所の新築、改築、増築、改修事業への補助や集会所として使用する目的である既存建物・土地の取得事業への補助</p>																																																																										
取組実績	<p>○被災集会所の新築及び改修事業（石巻市東日本大震災被災集会所建設費等補助金） 【新築 9件】 石巻1件、河北3件、雄勝3件、牡鹿2件 【備品19件】 新築集会所9件、復興公営住宅集会所10件</p> <p>○被災集会所の新築事業・交流活動（被災地域交流拠点施設整備事業補助金） 【新築1件】 雄勝1件 【交流活動2件】 石巻1件、北上1件</p>																																																																										
成 果	<p>東日本大震災により被災した地区集会所を整備することにより、地域住民活動の拠点が整備されるとともに、既存コミュニティの再生と新たなコミュニティ組織づくりの推進が図られた。</p> <p>○石巻市東日本大震災被災集会所建設費等補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駅前新町会館（石巻）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>27,585,000円</td> <td>27,475,000円</td> </tr> <tr> <td>二子東地区集会所（河北）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>26,303,564円</td> <td>26,243,000円</td> </tr> <tr> <td>二子西地区集会所（河北）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>25,388,600円</td> <td>25,295,000円</td> </tr> <tr> <td>二子南地区集会所（河北）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>26,376,800円</td> <td>26,372,000円</td> </tr> <tr> <td>雄勝中央団地会館（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>23,110,360円</td> <td>23,110,000円</td> </tr> <tr> <td>孝親会会館（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>12,720,871円</td> <td>12,720,000円</td> </tr> <tr> <td>船戸地区集会所（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>9,853,471円</td> <td>9,852,000円</td> </tr> <tr> <td>大原地区集会所（牡鹿）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>26,492,400円</td> <td>26,372,000円</td> </tr> <tr> <td>小淵地区集会所（牡鹿）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>23,381,000円</td> <td>23,381,000円</td> </tr> <tr> <td>復興公営住宅集会所10件</td> <td>初期備品</td> <td>4,954,191円</td> <td>4,954,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>206,166,257円</td> <td>205,774,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○被災地域交流拠点施設整備事業補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>羽坂コミュニティセンター（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>25,029,020円</td> <td>24,973,380円</td> </tr> <tr> <td>不動町町内会集会所（石巻）</td> <td>交流活動</td> <td>333,458円</td> <td>295,000円</td> </tr> <tr> <td>にっこり集会所（北上）</td> <td>交流活動</td> <td>500,402円</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>25,862,880円</td> <td>25,768,380円</td> </tr> </tbody> </table>							集会所名	事業区分	事業費	補助金額	駅前新町会館（石巻）	新築・初期備品	27,585,000円	27,475,000円	二子東地区集会所（河北）	新築・初期備品	26,303,564円	26,243,000円	二子西地区集会所（河北）	新築・初期備品	25,388,600円	25,295,000円	二子南地区集会所（河北）	新築・初期備品	26,376,800円	26,372,000円	雄勝中央団地会館（雄勝）	新築・初期備品	23,110,360円	23,110,000円	孝親会会館（雄勝）	新築・初期備品	12,720,871円	12,720,000円	船戸地区集会所（雄勝）	新築・初期備品	9,853,471円	9,852,000円	大原地区集会所（牡鹿）	新築・初期備品	26,492,400円	26,372,000円	小淵地区集会所（牡鹿）	新築・初期備品	23,381,000円	23,381,000円	復興公営住宅集会所10件	初期備品	4,954,191円	4,954,000円	計		206,166,257円	205,774,000円	集会所名	事業区分	事業費	補助金額	羽坂コミュニティセンター（雄勝）	新築・初期備品	25,029,020円	24,973,380円	不動町町内会集会所（石巻）	交流活動	333,458円	295,000円	にっこり集会所（北上）	交流活動	500,402円	500,000円	計		25,862,880円	25,768,380円
	集会所名	事業区分	事業費	補助金額																																																																							
駅前新町会館（石巻）	新築・初期備品	27,585,000円	27,475,000円																																																																								
二子東地区集会所（河北）	新築・初期備品	26,303,564円	26,243,000円																																																																								
二子西地区集会所（河北）	新築・初期備品	25,388,600円	25,295,000円																																																																								
二子南地区集会所（河北）	新築・初期備品	26,376,800円	26,372,000円																																																																								
雄勝中央団地会館（雄勝）	新築・初期備品	23,110,360円	23,110,000円																																																																								
孝親会会館（雄勝）	新築・初期備品	12,720,871円	12,720,000円																																																																								
船戸地区集会所（雄勝）	新築・初期備品	9,853,471円	9,852,000円																																																																								
大原地区集会所（牡鹿）	新築・初期備品	26,492,400円	26,372,000円																																																																								
小淵地区集会所（牡鹿）	新築・初期備品	23,381,000円	23,381,000円																																																																								
復興公営住宅集会所10件	初期備品	4,954,191円	4,954,000円																																																																								
計		206,166,257円	205,774,000円																																																																								
集会所名	事業区分	事業費	補助金額																																																																								
羽坂コミュニティセンター（雄勝）	新築・初期備品	25,029,020円	24,973,380円																																																																								
不動町町内会集会所（石巻）	交流活動	333,458円	295,000円																																																																								
にっこり集会所（北上）	交流活動	500,402円	500,000円																																																																								
計		25,862,880円	25,768,380円																																																																								
成果に係る評価	<p>地区集会所は、地域コミュニティ活動の拠点となる重要な施設である。震災により被災した集会所や、防災集団移転団地に整備された集会所は、被災により失われたコミュニティの再生や新たに構築するための拠点施設として果たす役割は大きく、事業の目的である市民と協働のまちづくりの推進に大きく寄与した。</p>																																																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																					
	231,627,000	231,542,380	25,768,380		114,776,000	90,998,000																																																																					

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の方でみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P146		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費			
事業コード	001-201-002-00929		事 業 名	地域づくりコーディネート事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	住民自治組織の推薦を受けたNPO等の市民公益活動団体が、コミュニティの再生・強化を推進するために、住民主体による地域づくりやコミュニケーションづくりを支援する事業に対し補助する。						
取 組 実 績	平成30年度採択団体名		事業名		補助額		
	1	特定非営利活動法人 20世紀アーカイブ仙台	「昭和時代の地域映像を活用した高齢者のためのコミュニティづくり」事業		2,375,412円		
	2	上釜を愛する会	地域の方を活かした住民主体の地域づくりサポート事業		1,472,045円		
	3	一般社団法人 ヒガシミノ団地	中里住吉地区における既存住民と復興公営住宅の自立したコミュニティの再構築		1,800,000円		
	4	一般社団法人 石巻じちれん	のぞみ野（新蛇田）地区交流促進コーディネート事業		2,228,000円		
	5	NPO法人 ばんぶきんふれあい会	湊地区復興公営住宅入居者と周辺地域における「顔の見える関係」の構築と互助力の向上に向けた住民育成事業		2,500,000円		
	6	一般社団法人 ウィーアーワン北上	北上地域・住民による住民のための地域づくり		1,607,110円		
	7	一般社団法人 日本カーシェアリング協会	住民主体でのカーシェアリングを通じた新蛇田南地区でのコミュニティ形成サポート事業		2,500,000円		
		合 計		14,482,567円			
成 果	1 「特定非営利活動法人 20世紀アーカイブ仙台」 ・参加者同士の交流が生まれ、お互いの理解を深めるようなコミュニケーション作りができた。						
	2 「上釜を愛する会」 ・住民同士の連帯を深め、若年層も取り込むことにより多世代にわたる担い手育成を促進できた。						
	3 「一般社団法人 ヒガシミノ団地」 ・既存住民と復興公営住宅入居者との交流を促進し、一部町内会に加入する流れを作ることができた。						
	4 「一般社団法人 石巻じちれん」 ・集会所の管理から地域で活動するサークル等を支援し、住民の自主性及び地域の連携を強化することができた。						
	5 「NPO法人 ばんぶきんふれあい会」 ・住民主体による互助活動の創出を支援し、それにより地域自治への意識醸成、機能強化につながった。						
	6 「一般社団法人 ウィーアーワン北上」 ・全住民アンケートを実施し、地域自治システムの地域内理解を促進させ、協議会設置へ着手した。また、本事業をきっかけに新たな活動をする自治会が出てきた。						
	7 「一般社団法人 日本カーシェアリング協会」 ・地域行事や防災訓練を地域住民と協働することにより、地域を盛り上げようという機運を高めた。						
成果に係る評価	本事業により、住民同士の交流増加や自治会の新たな活動の創出に繋がっているところもあり、それぞれの団体において本補助金の趣旨である「住民自治組織の強化、再生及び再構築を図ること」に対する一定の成果を上げている。より住民自治組織へ適切な支援となるよう検討を行っていく。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	14,922,000	14,482,567			14,482,567		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の方でみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P147		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費			
事業コード	001-201-003-01261		事 業 名	(仮称)大川地区地域交流センター整備事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容	地域コミュニティの再生・強化のため、大川地区の新たな広域拠点として地域の交流の場を確保するとともに、震災によって失われたスポーツ振興施設としても活用できる多目的ホールを備えたコミュニティ施設を整備する。 コミュニティ施設建設 敷地：1,402.22㎡ 建物：木造平屋建屋根ガルバリウム鋼板葺き 延べ床面積597.69㎡ 駐車場整備 46台（うち障害者用駐車場2台）						
取 組 実 績	1 用地購入及び物件移転補償 土地購入費 4,583,398円 物件移転補償費 2,508,202円						
	2 廃棄物処理手数料 敷地内廃棄物処理手数料 137,808円 3 調査設計業務委託料 地質調査業務委託料 4,033,800円 工事設計業務委託料（工事前払金のみ） 8,000,000円 ※業務委託契約額 20,498,400円						
成 果	平成30年度 用地購入及び工作物移転等完了 地質調査（ボーリング調査）完了 基本設計完了						
	令和元年度4月より実施設計に着手し、令和2年1月工事発注の見込みであり、令和3年3月の工事完了に向けての進捗となっている。						
成果に係る評価							
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	26,722,000	19,263,208			12,843,000	6,420,208	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり	
	1 項	総務管理費				(2)	地域の方でみんなで守る	
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援	
実施計画掲載ページ		P148	中 事 業		地域コミュニティ再生関係費			
事業コード		001-201-005-00678	事 業 名		復興応援隊設置事業			
目的及び事業内容		被災地の自治機能回復と持続可能な地域コミュニティの構築を長期的視野に入れ、マンパワー不足の解消と地域の将来を担う人材の育成を行い、被災地の地域づくりを目的とした住民主体の地域活動を促進するため、一定期間、地域住民の活動を支援する。						
取組実績		<p>平成30年度復興応援隊設置事業委託契約額</p> <ul style="list-style-type: none"> ●石巻中央地区（応援隊員4名）・・・12,895,675円 市民が主体となった震災伝承ワークショップの開催 市民参加による震災伝承プログラムの実施 ●雄勝地区（応援隊員4名）・・・17,841,600円 地域コミュニティ紙の編集・配布及びホームページによる地域情報の提供 交流スペースを活用した住民協働支援 仮設商店や支援団体と連携した地域PR活動 ●北上地区（応援隊員3名）・・・10,670,400円 北上地域の住まいと暮らしの復興 北上地域の活性化支援 ●牡鹿地区（応援隊員4名）・・・16,416,000円 地域の復興及びまちづくり構想への提案や事業実施サポート 牡鹿地区内での祭り・イベント等の開催支援 復興状況等の情報発信 						
成 果		<ul style="list-style-type: none"> ●石巻中央地区 震災伝承施設「つなぐ館」の運営・・・809件（延べ3,237人）への語り部対応 3.11メモリアルネットワーク運営・・・全体会5回、214名、役員会16回 南浜つなぐ館・・・開館260回、3,098件（延べ15,367人）への語り部対応 震災伝承プログラムの開催件数と人数・・・597件（延べ15,499人）の開催 ●雄勝地区 月1回の「月刊雄勝」の発行・・・発行部数1,500部 住民協働支援・・・サークル活動16グループ/イベント等開催支援7回 地域おこしイベントの補助活動・・・6回 ●北上地区 集落単位によるワークショップ開催・・・地域ごとに4回 テーマ別（集落単位）ワークショップの開催・・・地域ごとに2回 地域コミュニティイベント等の開催・・・2回 地域コミュニティ紙による情報発信・・・4回 ●牡鹿地区 まちづくり協議会の開催支援・・・12回 移動型トレーラー休憩所支援・・・12回 牡鹿地区内での祭り・イベント等の開催支援・・・6回 地域情報誌の発行及びおしか案内パンフレットの発行・・・13回 						
成果に係る評価		復興応援隊は、平成24年度から宮城県事業として実施してきたが、平成29年度から石巻市事業として、引き続き実施した。 各地区での事業実施を通じ、地域の復興・再生と地域コミュニティの再構築が図られ、また、事業終了後の住民主体の活動へと移行するための機運醸成と、令和2年度の復興期間収束に向けた共通認識が得られた。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	60,966,000		57,823,675					57,823,675

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																													
	1 項	総務管理費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																													
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援																													
実施計画掲載ページ		P177	中 事 業		被災地域交通対策関係費																															
事業コード		002-101-005-00361	事 業 名		応急仮設住宅バス運行事業																															
目的及び事業内容		<p>応急仮設住宅入居者を中心とする被災者への支援として、震災後の平成23年9月より、日常生活における移動手段確保と被災者支援を目的として、医療機関や商業施設を巡回するバスを、被災者の負担を軽減するため、運賃を全区間一律100円で運行し、運行主体に対して運行費を補助している。 また、河北地区及び桃生地区の仮設住宅が解消したことに伴い、河北地区仮設住宅線、桃生地区仮設住宅線については、平成31年3月末に廃止となった。</p>																																		
取組実績		<p>応急仮設住宅入居者の日常生活における移動手段を確保するため、全区間一律100円の運賃でバスを運行し、運行主体に対して補助を行った。</p> <p>平成30年度路線別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>主な経由地</th> <th>運行主体（補助対象）</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市内仮設住宅循環線</td> <td>石巻駅前、大橋、開成、日赤病院、蛇田</td> <td>㈱ミヤコーバス</td> <td>8,482,928円</td> </tr> <tr> <td>河北地区仮設住宅線</td> <td>飯野川、大森・追波川団地、上品の郷、イオン、石巻駅前</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>8,377,341円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区仮設住宅線</td> <td>中津山団地、桃生総合支所、日赤病院、イオン、石巻駅前</td> <td>桃生地区住民バス運行協議会</td> <td>7,810,058円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>24,670,327円</td> </tr> </tbody> </table>						路線名	主な経由地	運行主体（補助対象）	補助金額	石巻市内仮設住宅循環線	石巻駅前、大橋、開成、日赤病院、蛇田	㈱ミヤコーバス	8,482,928円	河北地区仮設住宅線	飯野川、大森・追波川団地、上品の郷、イオン、石巻駅前	河北地区住民バス運行協議会	8,377,341円	桃生地区仮設住宅線	中津山団地、桃生総合支所、日赤病院、イオン、石巻駅前	桃生地区住民バス運行協議会	7,810,058円	合計			24,670,327円									
路線名	主な経由地	運行主体（補助対象）	補助金額																																	
石巻市内仮設住宅循環線	石巻駅前、大橋、開成、日赤病院、蛇田	㈱ミヤコーバス	8,482,928円																																	
河北地区仮設住宅線	飯野川、大森・追波川団地、上品の郷、イオン、石巻駅前	河北地区住民バス運行協議会	8,377,341円																																	
桃生地区仮設住宅線	中津山団地、桃生総合支所、日赤病院、イオン、石巻駅前	桃生地区住民バス運行協議会	7,810,058円																																	
合計			24,670,327円																																	
成 果		<p>仮設住宅の解消により、利用者は大幅に減少したが、仮設入居者の日常生活の移動手段の確保ができ、被災者支援が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市内仮設住宅循環線</td> <td>10,482人</td> <td>1,461便</td> <td>9,434人</td> <td>1,464便</td> </tr> <tr> <td>河北地区仮設住宅線</td> <td>7,999人</td> <td>730便</td> <td>5,987人</td> <td>735便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区仮設住宅線</td> <td>4,430人</td> <td>976便</td> <td>4,291人</td> <td>976便</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22,911人</td> <td>3,167便</td> <td>19,712人</td> <td>3,175便</td> </tr> </tbody> </table>						路線名	H29		H30		利用者数	便数	利用者数	便数	石巻市内仮設住宅循環線	10,482人	1,461便	9,434人	1,464便	河北地区仮設住宅線	7,999人	730便	5,987人	735便	桃生地区仮設住宅線	4,430人	976便	4,291人	976便	合計	22,911人	3,167便	19,712人	3,175便
路線名	H29		H30																																	
	利用者数	便数	利用者数	便数																																
石巻市内仮設住宅循環線	10,482人	1,461便	9,434人	1,464便																																
河北地区仮設住宅線	7,999人	730便	5,987人	735便																																
桃生地区仮設住宅線	4,430人	976便	4,291人	976便																																
合計	22,911人	3,167便	19,712人	3,175便																																
成果に係る評価		仮設住宅入居者の日常生活の移動手段が確保され、低廉な運賃運行により負担軽減も図られ、被災者の生活支援の一助となっている。 石巻市内仮設住宅循環線については、仮設住宅解消に伴い、令和元年9月に廃止する予定である。現行の路線バス、住民バスの路線再編と併せて検討していく必要がある。																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	25,064,000		24,670,327		20,770,427			3,899,900																												

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり														
	1 項	総務管理費		第 節		(1)	新たな防災体制の構築														
	28 目	東日本大震災関係費		()		(4)	震災記録の継承														
実施計画掲載ページ	P145		中 事 業	慰霊碑整備事業費																	
事業コード	001-104-002-00302		事 業 名	慰霊碑整備事業																	
目的及び事業内容	東日本大震災で犠牲となった方々を追悼するため、3地区（雄勝・北上・牡鹿）慰霊公園内に慰霊碑を建立する。																				
取組実績	<p>次の地区における慰霊碑等設置業務を実施した。</p> <p>1 雄勝地区慰霊碑等設置業務 ・面整備である慰霊公園の整備スケジュールに合わせ、平成29年度から繰越 ・平成31年3月完成</p> <p>2 牡鹿地区慰霊碑等設置業務 ・公募型プロポーザル方式による提案募集（申込者数2者） ・プロポーザル選定委員会（委員6人）で委託事業者を選定 ・平成31年3月完成</p>																				
成 果	<p>東日本大震災で犠牲となられた方々への追悼・鎮魂及び震災の記憶の伝承が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績（完成地区名）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>2地区</td> <td>1地区 北上地区 ※雄勝地区は繰越</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2地区</td> <td>2地区 雄勝地区 牡鹿地区</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		達成率	目標値	実績（完成地区名）	H29	2地区	1地区 北上地区 ※雄勝地区は繰越	50.0%	H30	2地区	2地区 雄勝地区 牡鹿地区	100.0%
区分	成果指標		達成率																		
	目標値	実績（完成地区名）																			
H29	2地区	1地区 北上地区 ※雄勝地区は繰越	50.0%																		
H30	2地区	2地区 雄勝地区 牡鹿地区	100.0%																		
成果に係る評価	慰霊公園及び慰霊碑が完成した3地区では、追悼・鎮魂の場として多くの方々が訪れている。本庁地区における慰霊碑については、一度に多くの方々が訪れることができる石巻南浜津波復興祈念公園内に整備を進めていく。																				
予算の執行状況	（単位：円）																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源															
	35,361,000	34,054,268				34,054,268															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり														
	1 項	総務管理費		第 節		(1)	新たな防災体制の構築														
	28 目	東日本大震災関係費		()		(4)	震災記録の継承														
実施計画掲載ページ	P145		中 事 業	震災遺構整備事業関係費																	
事業コード	001-104-002-01202		事 業 名	震災伝承事業〔復興交付金〕																	
目的及び事業内容	東日本大震災による深い傷跡、悲しみの記憶及び震災を通じて得た記憶を風化させることなく後世に伝えるため、旧門脇小学校校舎及び旧大川小学校校舎を震災遺構として整備する。																				
取組実績	<p>平成29年度実績 ・プロポーザル選定委員会を設置し、基本設計の委託事業者を設定（旧門脇小・旧大川小）</p> <p>平成30年度実績 1 旧門脇小学校震災遺構整備 (1) 住民ワークショップの実施 平成30年6月、7月 (2) 住民説明会の実施 平成30年9月 (3) 基本設計業務完了 平成30年12月 2 旧大川小学校震災遺構整備 (1) 関係団体ヒアリングの実施 平成30年10月～12月（4回） (2) 住民説明会の実施 平成31年1月 (3) 基本設計業務完了 平成31年3月</p>																				
成 果	<p>震災遺構整備方針に基づき、事業の進捗を図った。</p> <p>【事業の進捗】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">事業の進捗率</th> <th rowspan="2">達成率 （年度別）</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>10.0%</td> <td>2.0%</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>30.0%</td> <td>15.0%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	事業の進捗率		達成率 （年度別）	目標値	実績等	H29	10.0%	2.0%	20.0%	H30	30.0%	15.0%	50.0%
区分	事業の進捗率		達成率 （年度別）																		
	目標値	実績等																			
H29	10.0%	2.0%	20.0%																		
H30	30.0%	15.0%	50.0%																		
成果に係る評価	令和2年度中の完成に向け、事業を着実に進捗させる必要がある。																				
予算の執行状況	（単位：円）																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源															
	156,567,000	138,653,121			107,700,000	30,953,121															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(1)	新たな防災体制の構築
	28 目	東日本大震災関係費				(4)	震災記録の継承
実施計画掲載ページ		P145	中 事 業		震災広報関係費		
事業コード		001-104-001-00301	事 業 名		震災記録収集整理事業〔復興基金〕		
目的及び事業内容		震災の記録を保存し、復興への道のりをデジタルアーカイブ等として後世に伝え、今後の防災事業等の一助とする。					
取 組 実 績		<p>1 震災記録写真、動画データ等の収集・整理 「東日本大震災アーカイブ宮城」にて震災記録写真を公開した。</p> <p>2 被災体験談記録（オーラルヒストリー）編集事業 被災した市民の被災体験談（2件）をビデオカメラで撮影し保存した。 YouTubeで撮影した動画（17件）を公開した。</p> <p>3 震災関連資料のデジタル化 震災関連庁内文書のデジタル化（18,109件 39,584枚）を行った。</p> <p>4 震災関連パネル製作 震災からの復旧・復興状況に関する写真パネル（10枚）を製作した。</p> <p>5 石巻市震災復興記録写真展 (1) H30.6.6～7.17 石巻信用金庫あゆみ野支店（オープンイベント） (2) H30.6.23・24 総合運動公園（いしのまき復興マラソン） (3) H30.9.30～10.8 ビッグバン（東日本大震災パネル展示） (4) H30.11.3・4 イオンモール石巻店（大復興祭） (5) H31.3.7～12 イオンモール石巻店（震災復興イベント） (6) H31.3.7～12 山形県鶴岡市（震災復興イベント） (7) H31.3.15 日野市民会館（東日本大震災チャリティライブ）</p> <p>※上記のほか、各種イベントの会場にて展示を行った。</p>					
成 果		震災に関する資料の劣化や紛失等を防ぐため、各課で保管している各種資料等をデジタル化したことで、資料の収集や整理を進めることができた。 また「東日本大震災アーカイブ宮城」や震災関連写真パネルを展示する機会を設け、石巻市内での展示以外にも他県の団体等へ貸し出しを行い、震災当時の様子や復興の状況を発信し、震災の風化防止や理解を深める機会となった。					
成果に係る評価		震災関連の紙媒体資料をデジタル化することで、資料の劣化や紛失等を防ぐことができることから、今後も継続して復興過程を記録し、震災関連資料の収集・整理を行う必要がある。 また、収集資料展やパネル展等の開催については、依頼のあった団体等へ貸し出しを行うことで、震災の風化防止と復興状況への理解を深める効果に繋がるため、今後も積極的なPRに努め、東日本大震災の経験・教訓等を後世へ伝え続けていく必要がある。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	5,000,000	4,762,800			4,762,800		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	総務管理費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援
実施計画掲載ページ		P174	中 事 業		震災広報関係費		
事業コード		002-101-003-00357	事 業 名		市報復興号発行事業〔復興基金〕		
目的及び事業内容		東日本大震災による復旧・復興事業の様々な情報を迅速に発信するため、毎月市報1日号への掲載及び復興特集号を発行する。					
取 組 実 績		<p>復旧・復興関連情報を市報1日号に毎月掲載し、9月及び3月に復興特集号を発行した。 復興まちづくり等の内容説明に地図や写真等を使用し、復興の状況や復興関連情報が分かりやすいように掲載することに努めた。 また、ハード面の整備事業のほか、防災意識の高揚につながるよう防災の事業についても紹介するなど、多角的な情報発信に努めた。</p> <p>〔市報復興情報掲載〕 毎月1日発行、発行部数月65,000部、16ページ中4ページ、フルカラー</p> <p>主な掲載内容 ・災害復興住宅融資無料相談会 ・住まいの復興給付金申請相談会 ・プレハブ仮設住宅退去者の手続き ・被災者生活再建支援制度の手続き ・半島沿岸部防災集団移転促進事業における空き区画の登録受け付け など</p> <p>〔市報復興特集号発行〕 平成30年9月15日・平成31年3月15日発行、発行部数月65,000部、8ページ、フルカラー</p> <p>主な掲載内容 ・河北地区二子団地防災集団移転促進事業 ・半島沿岸部拠点エリア整備事業 ・かわまち交流拠点整備事業 ・旧北上川の堤防や橋の整備状況 ・道路網の整備状況 ・自然災害への備え など</p>					
成 果		復興に関わる情報を発信する目的の下、多くの震災復興関連の情報や将来のまちの姿などを分かりやすく的確に伝えることができた。 掲載内容も渡波・北上白浜・網地白浜の3海水浴場の完全復活などを紹介し、復興が進む石巻市を発信することができた。 また、減災への第一歩となるよういざという時のための災害への備えなどの取り組みを紹介できた。					
成果に係る評価		施設等の整備状況や復興まちづくりに関するハード事業の情報が減少傾向にあるため、今後も防災・減災や復興イベントの情報、心のケア等ソフト事業の周知に力を入れ、復興関連の情報発信を通して防災意識の向上や復興を実感してもらえる紙面づくりに努める必要がある。 また、市報復興号については、市報15日号を平成29年度で廃止し、平成30年度からはこれまで15日号に掲載していた復興関連情報を1日号へ包含して掲載を行い、復興特集号を年2回発行したが、市報発行のあり方などについて引き続き検討したい。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,500,000	6,436,800			6,436,800		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	総務管理費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援
実施計画掲載ページ	P174		中 事 業	震災広報関係費			
事業コード	002-101-003-00535		事 業 名	全国避難者市報等郵送事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	東日本大震災により被災し、石巻市外への避難を余儀なくされている市民に行政情報や復興関連情報、生活再建情報を伝えるため、市報等を郵送する。						
取 組 実 績	<p>全国避難者情報システムに登録している市民や、被災したことにより石巻市外のみなし仮設に入居している市民等へ、市報の発行に合わせ、月1回の郵送を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回平均・・・834通 ・郵送物・・・市報、県政だより、議会だより、社協だより、選挙啓発チラシ ・郵送方法・・・ゆうメール 						
成 果	仮設住宅の解体の進捗に伴い、年度末に避難者へ市報が必要かどうかの確認を行い、その結果郵送件数が減少したが、市外で生活している避難者に対し、石巻市の現状や復興の進捗状況を知らせることができた。						
成果に係る評価	<p>震災により市外で生活している市民に対し、市の広報紙を通して情報を発信することは、被災者に対する安心に繋がる取り組みであるため、今後も行政情報や復興状況の情報を伝え、支援していく必要がある。</p> <p>また、石巻市内で生活することが困難な方々が、再び石巻市に戻られた際に安定した生活が送れるよう、住まいの再建の目途が立つまでは、市報等の郵送事業を継続していく必要がある。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,920,000	1,018,266			1,018,266		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																												
	1 項	総務管理費				(2)	地域のかでみんなで守る																												
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援																												
実施計画掲載ページ	P146		中 事 業	東日本大震災犠牲者追悼式関係費																															
事業コード	001-201-001-00303		事 業 名	東日本大震災犠牲者追悼式〔復興基金〕																															
目的及び事業内容	東日本大震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、夢や希望の持てる新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すため、市主催の追悼式を開催するもの。																																		
取 組 実 績	<p>東日本大震災石巻市追悼式の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日時 平成31年3月11日(月)午後2時40分～午後5時 2 場所 河北総合センター 3 概要 <ul style="list-style-type: none"> (1) 式場に祭壇及び献花台を設置した。 (2) 震災で犠牲となられた方々の御遺族(2,351人)に案内状を送付した。 (3) 本庁と各総合支所(河北総合支所を除く)に祭壇及び献花台を設置し、献花を受け付けた。 (4) 石巻合唱連盟・宮城県石巻好文館高等学校音楽部・市民有志による追悼合唱を行った。 (5) 国主催の追悼式の中継を、追悼式会場及び各献花場で放映した。 (6) 石巻駅前、各総合支所等から送迎バスを運行した。 																																		
成 果	<p>市主催の追悼式を開催することにより、震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、復興への決意を示すことができた。</p> <p>参加者</p> <table border="0"> <tr> <td>追悼式</td> <td>河北総合センター</td> <td>700人</td> </tr> <tr> <td>献花場</td> <td>市役所4階庁議室</td> <td>885人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雄勝総合支所仮庁舎</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>遊楽館</td> <td>111人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>桃生総合支所</td> <td>146人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>北上保健医療センター</td> <td>117人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>牡鹿保健福祉センター</td> <td>125人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>2,159人</td> </tr> </table> <p>送迎バス利用者</p> <table border="0"> <tr> <td>行き</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>帰り</td> <td>43人</td> </tr> </table>							追悼式	河北総合センター	700人	献花場	市役所4階庁議室	885人		雄勝総合支所仮庁舎	75人		遊楽館	111人		桃生総合支所	146人		北上保健医療センター	117人		牡鹿保健福祉センター	125人		計	2,159人	行き	40人	帰り	43人
追悼式	河北総合センター	700人																																	
献花場	市役所4階庁議室	885人																																	
	雄勝総合支所仮庁舎	75人																																	
	遊楽館	111人																																	
	桃生総合支所	146人																																	
	北上保健医療センター	117人																																	
	牡鹿保健福祉センター	125人																																	
	計	2,159人																																	
行き	40人																																		
帰り	43人																																		
成果に係る評価	東日本大震災の犠牲となられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すため、継続して本事業を実施していくこととしたい。																																		
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	14,576,000	14,572,676			14,572,676																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																						
	3 項	戸籍住民基本台帳費		第3節	市民満足度の高い行政サービスを提供する		()																						
	1 目	戸籍住民基本台帳費		(2)	行政サービスの質の向上を図る		()																						
実施計画掲載ページ		P 16	中 事 業		証明書等コンビニ交付サービス事業費																								
事業コード		001-003-002-01160	事 業 名		証明書等コンビニ交付サービス導入事業																								
目的及び事業内容		市民サービスの向上のため、マイナンバーカードを利用して、住民票の写しや印鑑登録証明などが全国のコンビニで取得できるサービスを導入した。																											
取 組 実 績		<p>H30年4月～6月までの実績内容</p> <p>(内容)</p> <p>1 コンビニ交付システム構築 (1)各関連システム改修及びシステム連携完了 (2)コンビニ交付開始前の工程試験の実施</p> <p>2 コンビニ交付サービス開始のPR (1)HP、市報掲載、のぼり・チラシ・ポスター・ポケットティッシュ作成 ※本庁、各支所、各総合支所、市内各公共施設、コンビニ各店舗へ設置</p> <p>3 マイナンバーカード普及促進 (1)HP、市報掲載</p>																											
成 果		<p>最寄のコンビニで、窓口の時間外や休日等に証明書を取得できるサービスを実施することにより、市民の利便性が向上した。</p> <p>○H30年7月1日(日)証明書等コンビニ交付サービス開始。 【H30.7.1～H31.3.31までに取得された証明書】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>証明書種類</th> <th>件数</th> <th>通数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住民票</td> <td>711</td> <td>787</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録証明書</td> <td>520</td> <td>705</td> </tr> <tr> <td>課税(非課税)証明書</td> <td>83</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>戸籍証明書</td> <td>183</td> <td>209</td> </tr> <tr> <td>戸籍の附票</td> <td>26</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,523</td> <td>1,814</td> </tr> </tbody> </table>							証明書種類	件数	通数	住民票	711	787	印鑑登録証明書	520	705	課税(非課税)証明書	83	85	戸籍証明書	183	209	戸籍の附票	26	28	計	1,523	1,814
証明書種類	件数	通数																											
住民票	711	787																											
印鑑登録証明書	520	705																											
課税(非課税)証明書	83	85																											
戸籍証明書	183	209																											
戸籍の附票	26	28																											
計	1,523	1,814																											
成果に係る評価		サービス開始以降、コンビニでの利用件数が増加傾向にある。																											
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																								
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	43,660,894		39,176,032					39,176,032																					